

大口総合戦略（転入者）アンケート

報告書（案）

平成27年12月25日時点

大 口 町

目 次

序章 調査の概要	1
第1章 あなたやあなたのご家族などについて	2
(1) 性別・年齢 (問1)	2
(2) 職業 (問2)	3
(3) 居住地 (自治組織) (問3)	4
(4) 家族の人数 (問4)	5
(5) 家族構成 (問5)	6
(6) 同居の家族 (問6)	7
(7) 結婚の有無 (問7)	9
第2章 大口町への転入理由や転入前後の様子について	10
(1) 転入の理由 (問8)	10
(2) 選択の理由 (問9)	12
(3) 前住地 (問10)	14
(4) 転入前後の住宅のタイプ (問11)	16
(5) 住みやすさに関する比較評価 (問12)	19
(6) 前住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価 (問13)	24
第3章 大口町における定住意向について	27
(1) 定住意向 (問14)	27
(2) 転出する場合の理由 (問15)	30
■調査票	32

序章 調査の概要

(1) 調査の目的

大口町では、『みんなで進める自立と共助のまちづくり』を基本理念として掲げた第6次大口町総合計画に基づいて町政運営を進めてきました。また、全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる中、本町では、住みやすいまちづくりを進めるための戦略（計画）づくりをスタートさせたところです。

そこで、より一層住みやすいまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的に、大口町に転入してきた18～60歳の市民の皆さんを対象にアンケートを実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象

平成26年4月1日～平成27年9月30日に大口町外から町内に転入してきた18歳～60歳の市民約1,000人

②調査方法

郵送配布・郵送回収方式

③調査期間

平成27年11月12日から平成27年11月26日までの期間

(3) アンケート票の配付・回収状況

表 0-1 配付・回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
943	313	33.2 (%)

(4) グラフの見方等

グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフやダンゴ形のグラフを用いて表現しています。

図中の構成比(%)は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100.0%にはなりません。

一部のグラフにおいては、「不明(回答なし)」は省略してあります。また、設問のカテゴリー(選択肢)などの表現は、一部省略してある場合があります。

第1章 あなたやあなたのご家族などについて

(1) 性別・年齢(問1)

問1 あなたの性別・年齢をお教えてください。

回答者のうち、「男性」が約7割近くを占め、年齢は20歳代以下が40.9%で最も多く、30歳代以下の若年層が8割近くを占めています。

○回答者の性別は、「男性」が69.3%、「女性」が30.0%であり、「男性」が「女性」より39.3ポイント上回っています。(図1-1-1)。

【年齢別】

○回答者の年齢は、「20歳代以下」が40.9%で最も多く、次いで「30歳代」が36.1%となっており、30歳代以下の若年層が77.0%を占めています。なお、「40歳代」は12.8%、「50歳代・60歳」は8.9%となっています。(図1-1-2)。

図1-1-1 「性別」

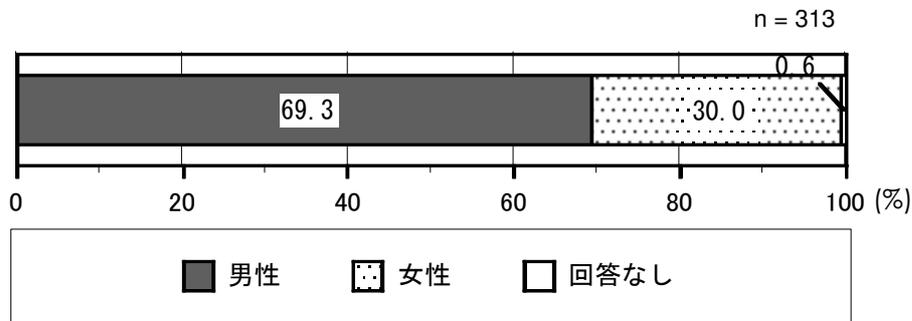
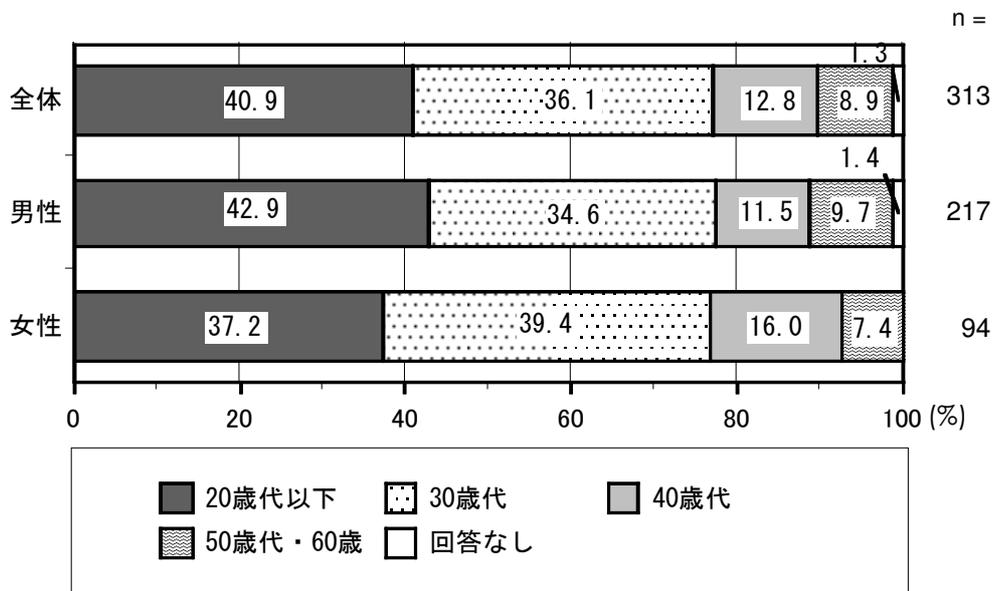


図1-1-2 年齢別「性別」



(2) 職業 (問2)

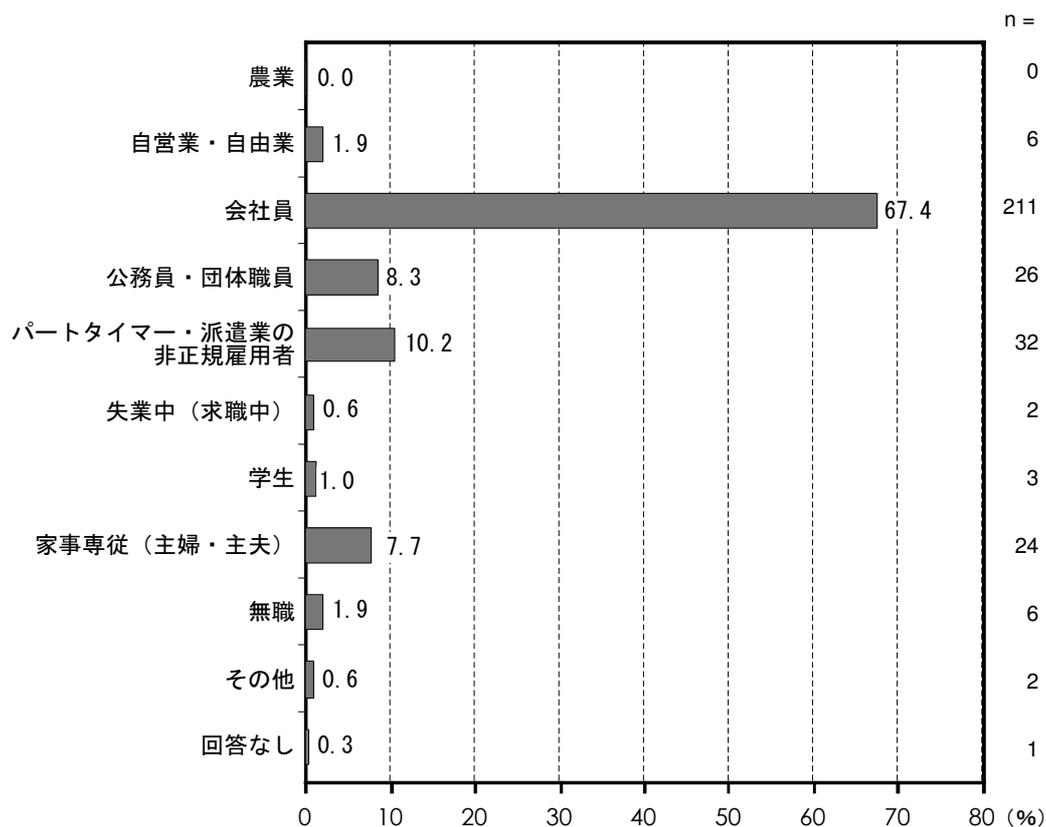
問2 あなたの職業は何ですか。

回答者のほとんどが有職者であり、職業は、「会社員」が67.4%で最も多くなっています。

○回答者の職業は、「失業中（求職中）」(0.6%)、「家事専従（主婦・主夫）」(7.7%)、「無職」(1.9%) は合わせても10.2%であり、有職者が大半を占めています。

○最も多いのは「会社員」(67.4%)であり、「パートタイマー・派遣業の非正規雇用者」(10.2%)「公務員・団体職員」(8.3%) が次に多くなっています (図1-2)。

図1-2 「職業」



(3) 居住地（自治組織）（問3）

問3 あなたは、現在、どの地区（行政区）にお住まいですか。

現在の居住地は、「北地域自治組織」と「中地域自治組織」で全体の約8割、「南地域自治組織」が約2割となっています。

○居住地をみると、「北地域自治組織」が46.6%で最も多く、続いて「中地域自治組織」が32.9%、「南地域自治組織」が17.3%となっています（図1-3）。

【年齢別】

○年齢別にみると、40歳代では、「北地域自治組織」が40.0%と全体に比べて若干少ない一方で、「中地域自治組織」（40.0%）が若干多くなっています（図1-3）。

図1-3 年齢別「居住地（自治組織）」

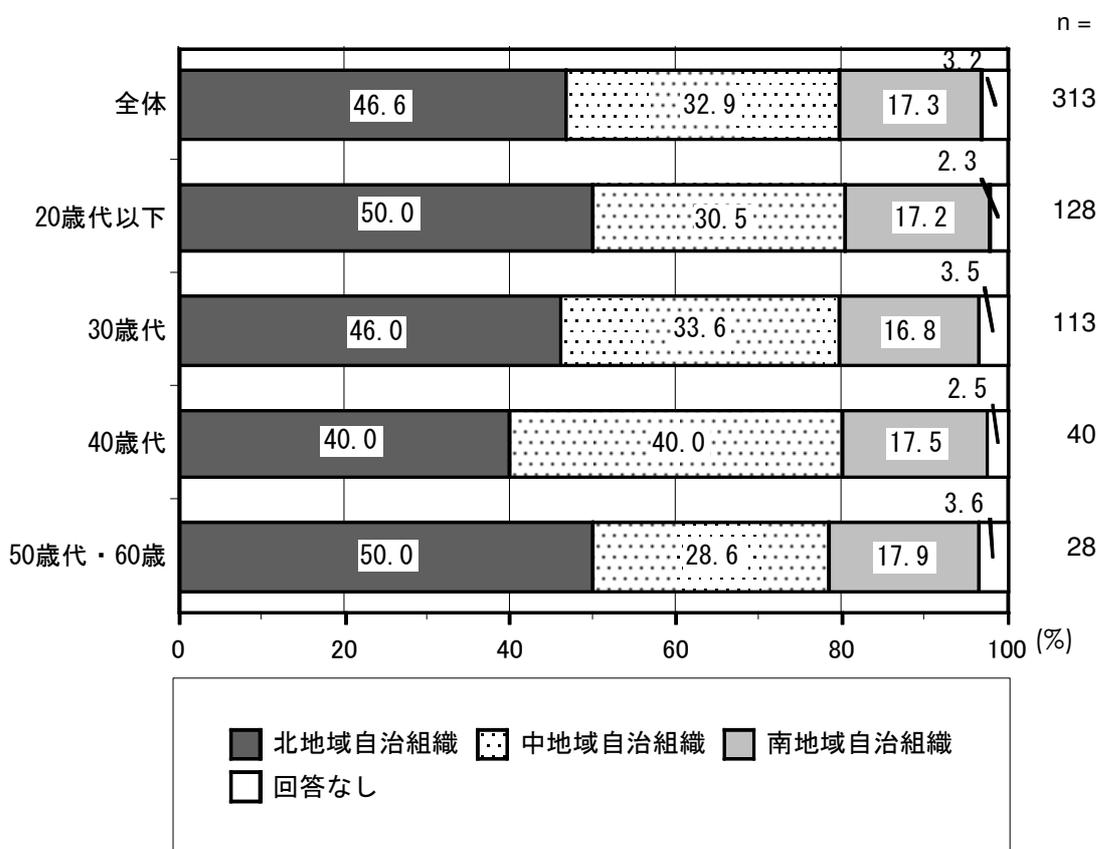


表1-3 自治組織-行政区対照表

自治組織	行政区
北地域自治組織	外坪、河北、上小口、中小口、下小口
中地域自治組織	余野、垣田、さつきヶ丘
南地域自治組織	秋田、豊田、大屋敷

(4) 家族の人数 (問4)

問4 大口町に転入されたご家族の人数は、あなたも含めて何人でしたか。

転入した家族の人数は、「1人」や「2人」、が7割近くを占めています。特に20歳代以下(89.1%)と50歳代・60歳(71.5%)でその割合が多くなっています。

○大口町に転入してきた家族の人数をみると、「1人」が39.6%で最も多く、「2人」が26.5%、「3人」が20.1%が続いています。

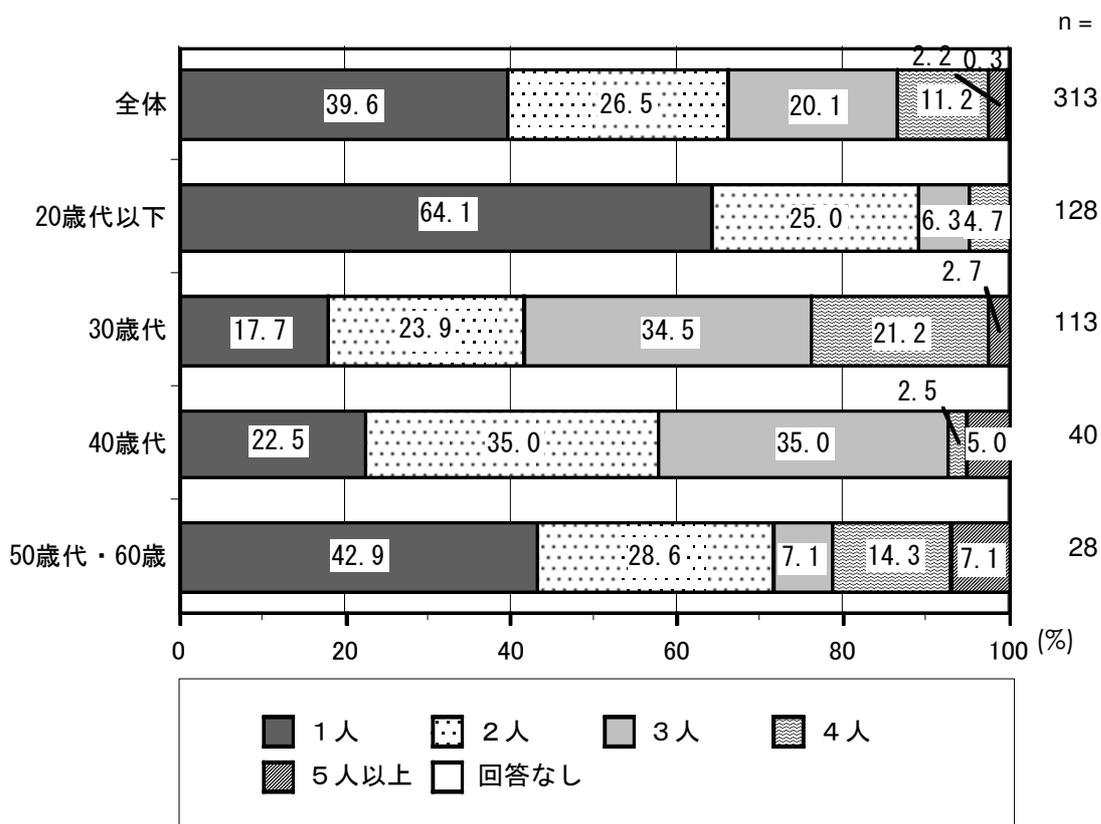
○「4人」、「5人以上」は合わせても13.4%と少なく、単身や2人(夫婦など)といった少人数での転入が7割近くを占めています(図1-4)。

【年齢別】

○年齢別にみると、20歳代以下で「1人」が64.1%と目立って多くなっていることが特徴としてみられます。逆に、30歳代や40歳代では「1人」がそれぞれ17.7%、22.5%と少なく、その分30歳代では、「3人」(34.5%)と「4人」(21.2%)が多くなっています。また、40歳代では、「3人」と「2人」が共に35.0%と多くなっています。

○50歳代・60歳では、「3人」が7.1%と目立って少なくなっていることも特徴としてみられます(図1-4)。

図1-4 年齢別「家族の人数」



(5) 家族構成 (問5)

問5 大口町と一緒に転入したあなたのご家族の構成は次のどれに属しますか。

単身世帯の転入が 39.0%と最も多くなっています。核家族（本人や配偶者＋子どもからなる2つの世代で構成される家族や夫婦世帯）については、52.7%を占めています。

○大口町転入した家族の構成は、「単身で転入」が 39.0%を占め最も多く、次に多かったのが「本人や配偶者と子ども（2つの世代からなる家族）」で 28.1%となっています。これとほぼ並んで「夫婦のみでの転入」が 24.6%となっています。

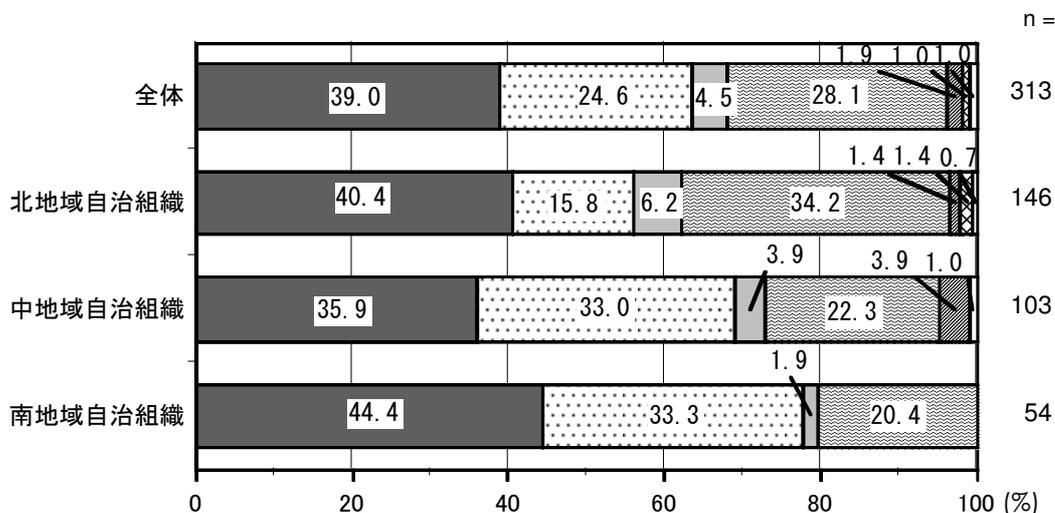
○「夫婦のみの世帯」と「本人や配偶者と子ども（2つの世代からなる家族）」を合わせた核家族は、52.7%を占めています（図 1-5-1）。

【居住地別】

○現在の居住地別（自治組織別）にみると、北地域自治組織では「本人や配偶者と子ども（2つの世代からなる家族）」の転入が 34.2%と全体と比べて若干多くなっています。その分、「夫婦のみ」の割合が 15.8%と少なくなっています。

○一方、南地域自治組織では「単身世帯」（44.4%）の転入と「夫婦のみ」（33.3%）の転入が若干多くなっている一方、その分、「本人や配偶者と子ども（2つの世代からなる家族）」（20.4%）が若干少なくなっています。また、「中地域自治組織」でも「夫婦のみ」（33.0%）の転入が若干多くなっています。その分、「本人や配偶者と子ども（2つの世代からなる家族）」（22.3%）が若干少なくなっています（図 1-5-1）。

図 1-5-1 居住地（自治組織）別「家族構成」



- 単身
- ▤ 夫婦のみ
- ▥ 1つの世代の家族（夫婦のみの世帯を除く）
- ▧ 2つの世代で構成される家族（本人や配偶者＋子ども）
- ▨ 2つの世代で構成される家族（本人や配偶者＋本人や配偶者の親）
- ▩ 3つの世代で構成される家族（本人や配偶者の親＋本人や配偶者＋子ども）
- 3つの世代で構成される家族（本人や配偶者の祖父母＋本人や配偶者の親＋本人や配偶者）
- 4つ以上の世代からなる家族
- ▬ その他
- 回答なし

(6) 同居の家族 (問6)

問6 大口町と一緒に転入したあなたのご家族の中には、次のいずれかにあてはまる方はいますか。【あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。】

転入してきた家族の中で子どもや学生が含まれている家族は 32.0%にとどまっています。子どもの年齢は、未就学児が多くなっています。

○転入してきた家族に子どもや学生が含まれるかを尋ねたところ、「そのような同居人はいない」は 65.8%であり、子どもや学生が含まれる人は、これと「回答なし」の 2.2%を除く残りの 32.0%にとどまっています。

○転入してきた子どもの詳細についてみると、「0歳～2歳の乳幼児」が 20.4%で最も多く、「3歳～5歳の幼児」が 9.3%、「小学生」が 4.8%が続いています (図 1-6-1)。

【年齢別】

○年齢別にみると、30歳代では、「0歳～2歳の乳幼児」(40.7%)をはじめとして家族の中に子どもがいるという人が比較的多くいます (図 1-6-2)。

図 1-6-1 年齢別「同居の家族」

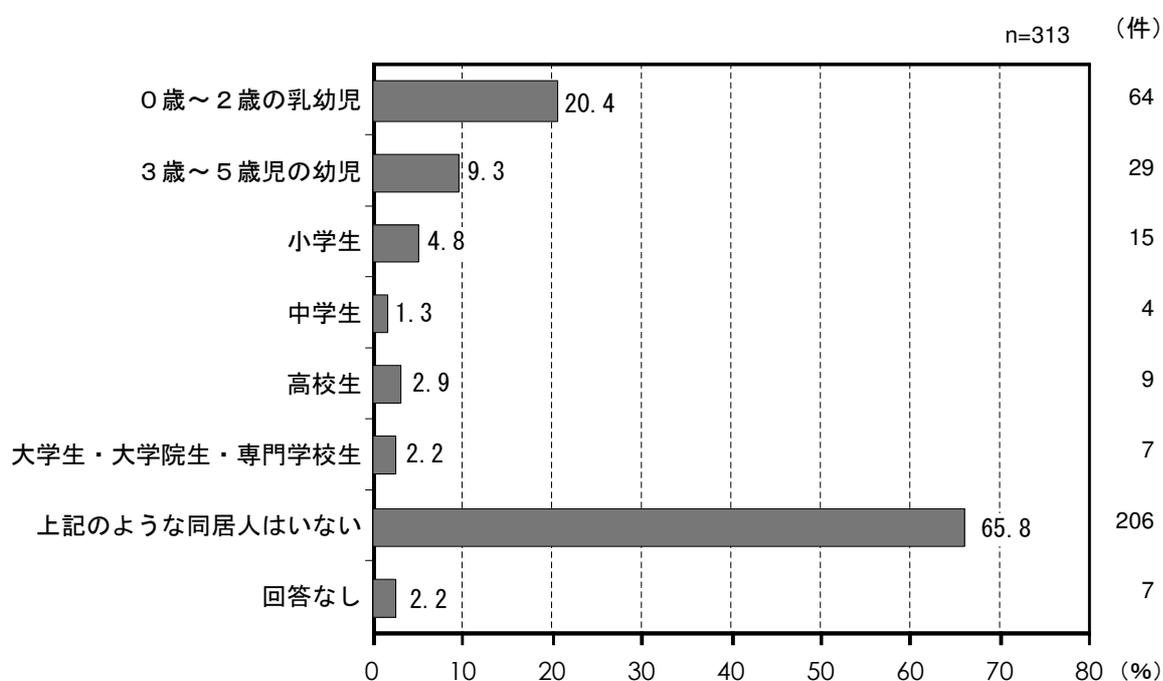
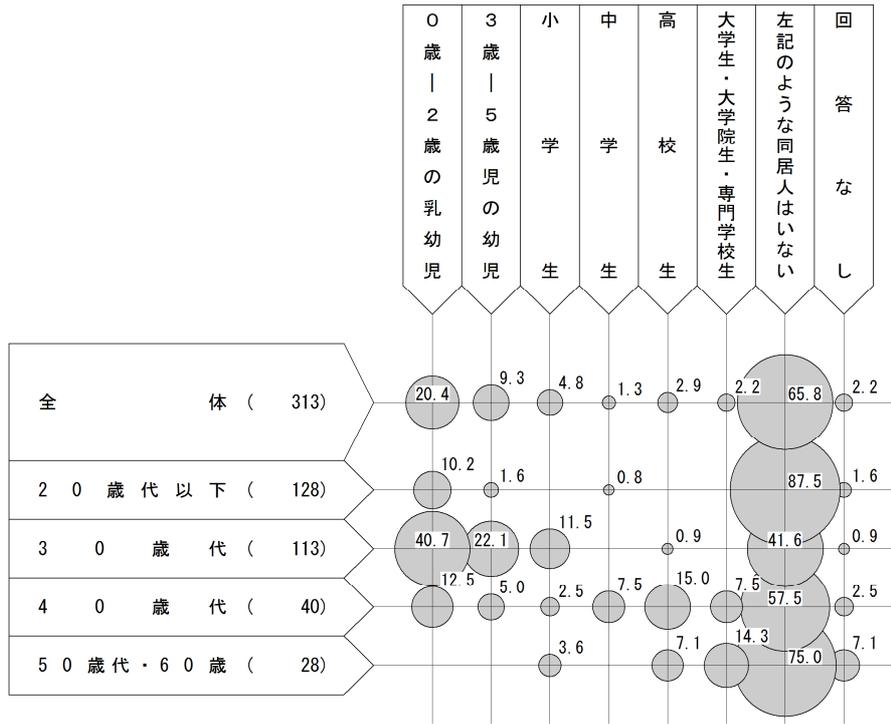


図 1-6-2 「同居の家族」



(7) 結婚の有無 (問7)

問7 あなたは結婚していますか。

既婚者が65.2%を占めるのに対して、未婚者は、23.0%にとどまっています。

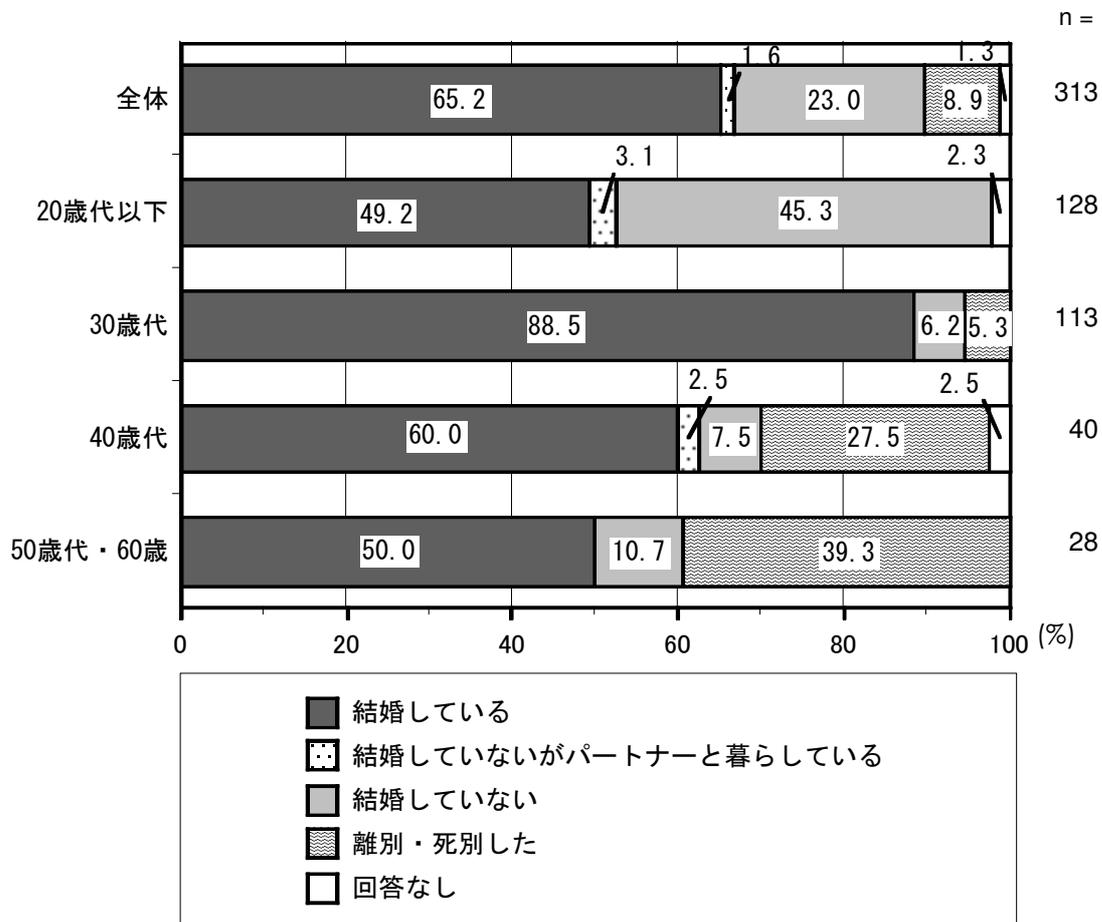
○回答者の結婚の有無についてみると、「結婚している」が65.2%で最も多く、「結婚していない」が23.0%、「離別・死別した」が8.9%となっています(図1-7)。

【年齢別】

○年齢別にみると、いずれの年代でも「結婚している」が最も多くなっていますが、30歳代では、88.5%と突出して多くなっています。また、50歳代・60歳や40歳代では、「離婚・死別した」がそれぞれ39.3%、27.5%と他より多くなっています。

○20歳代では「結婚している」(49.2%)と「結婚していない」(45.3%)が拮抗している形となっています(図1-7)。

図1-7 年齢別「結婚の有無」



第2章 大口町への転入理由や転入前後の様子について

(1) 転入の理由 (問8)

問8 大口町に転入してきた(引越しをしてきた)主なきっかけは何ですか。

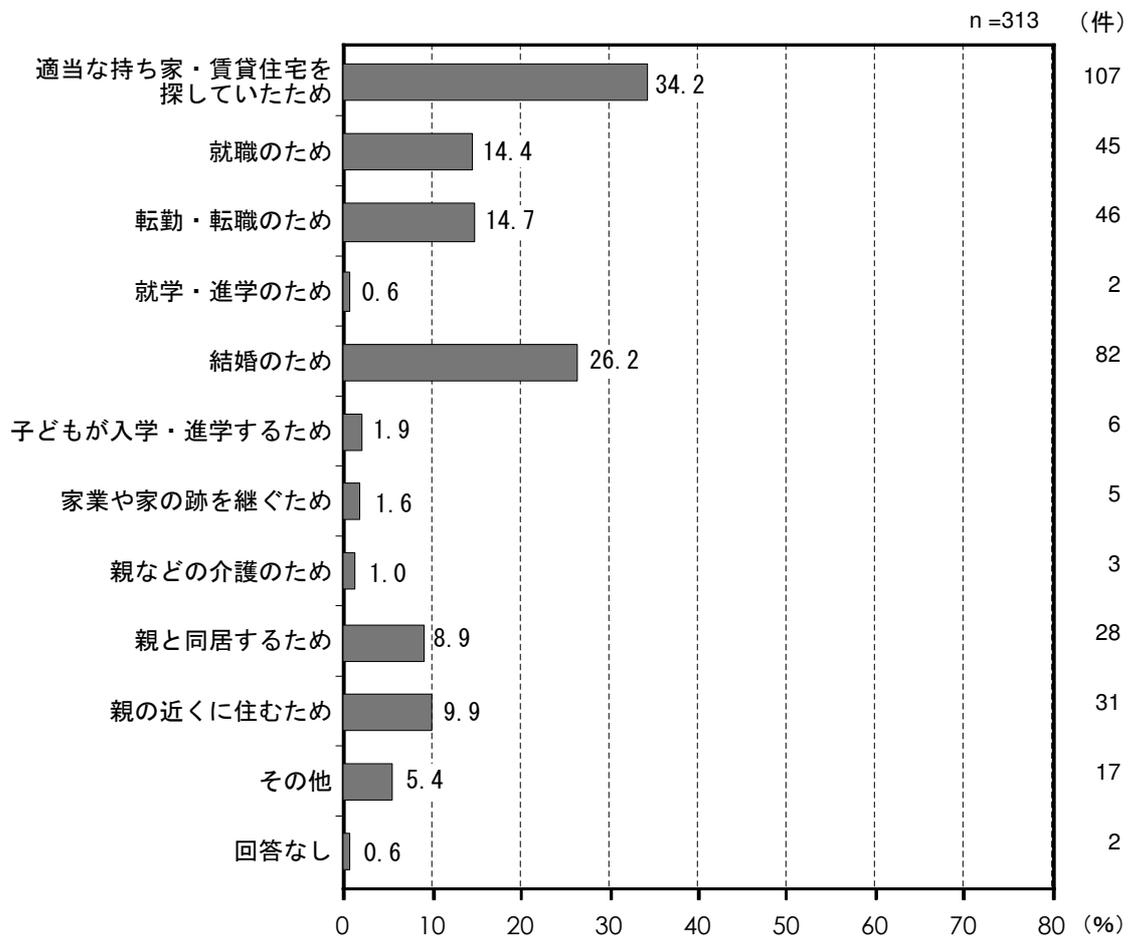
【あてはまるものを2つまで選んで番号に○印をつけてください。】

転入した主なきっかけは、「適当な持ち家・賃貸住宅を探していたため」が34.2%と最も多く、「結婚のため」(26.2%)、「転勤・転職のため」(14.7%)や「就職のため」(14.4%)が続いています。

○大口町に転入(引っ越し)した主なきっかけは、「適当な持ち家・賃貸住宅を探していたため」が34.2%と最も多く、「結婚のため」(26.2%)、「転勤・転職のため」(14.7%)や「就職のため」(14.4%)が続いています。住宅取得(賃貸も含む)や結婚、仕事の都合などのライフイベントを理由とした移動が多くなっています。

○また、仕事の都合の中でも、「就職のため」が「転勤・転職のため」とほぼ拮抗しているのが本町の特徴としてみられます(図2-1-1)。

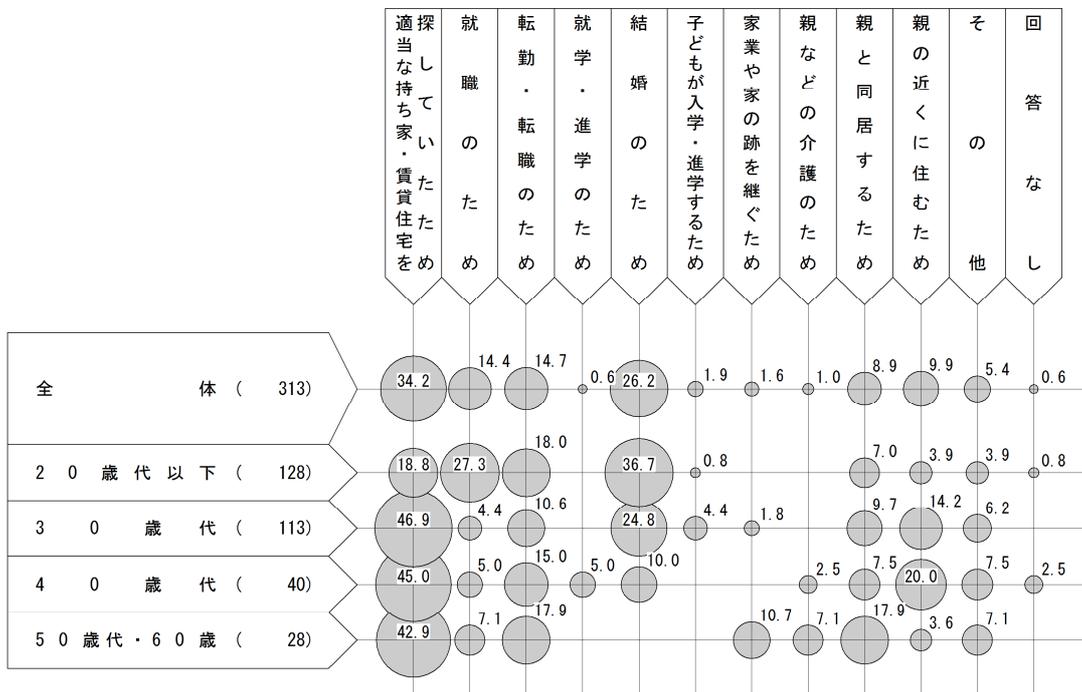
図2-1-1 「転入の理由」



【年齢別】

- 年齢別にみると、「適当な持ち家・賃貸住宅を探していたため」は、30歳代で46.9%、40歳代で45.0%、50歳代・60歳で42.9%と、30歳代以上の年齢層ではいずれも4割以上の人が転入のきっかけとしてあげています。
- 「結婚のため」や「就職のため」については、特に20歳代以下でそれぞれ36.7%、27.3%と多くなっています。
- なお、「結婚のため」を利用としている人は、年齢が上昇するにしたがって割合が少なくなる傾向が顕著にみられます。
- そのほか、「親の近くに住むため」については、40歳代（20.0%）で、また、「親と同居するため」については、50歳代・60歳（17.9%）で他の年齢層に比べて多くなっています(図2-1-2)。

図2-1-2 年齢別「転入の理由」



(2) 選択の理由 (問9)

問9 転入先(引越し先)として大口町を選んだ主な理由は何ですか。

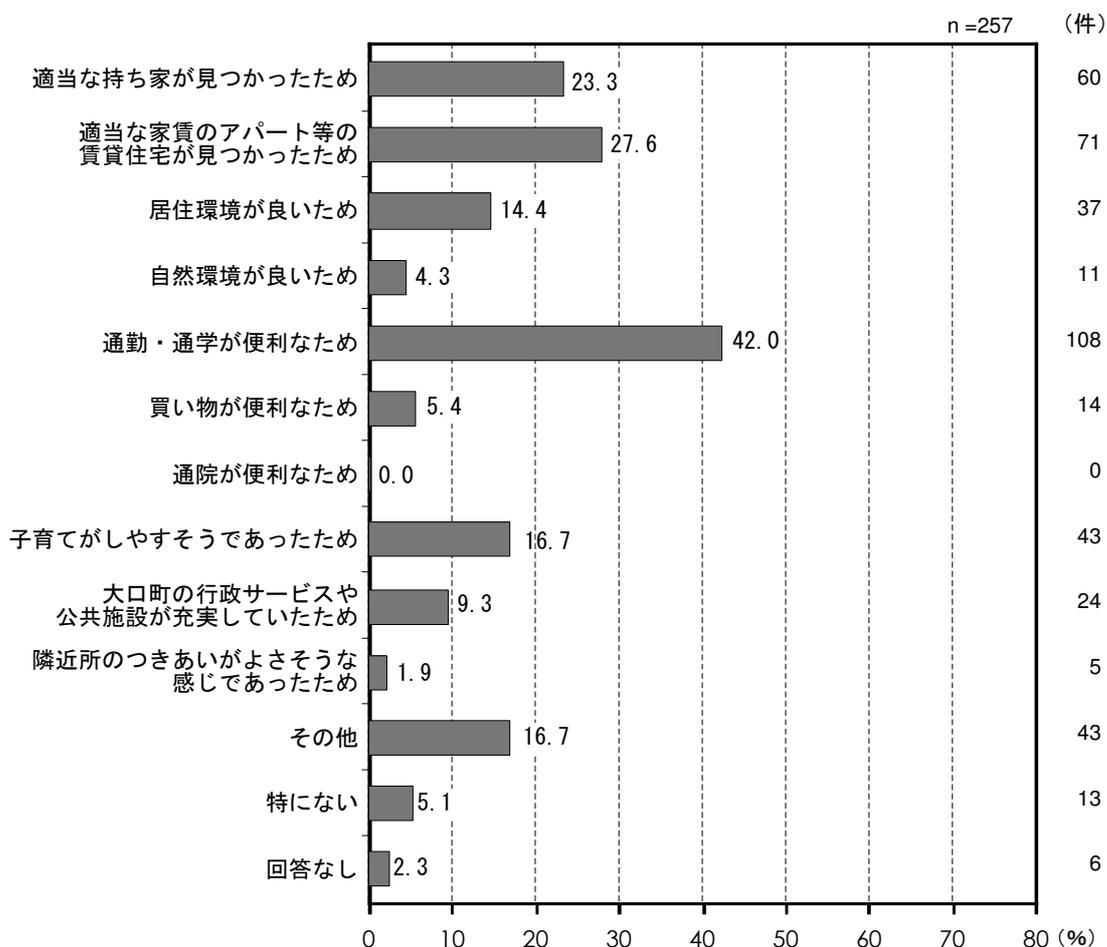
【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

交通の利便性や住宅取得面が転入先として大口町を選んだ主な理由となっており、特に「通勤・通学が便利のため」が42.0%となっています。また、「子育てがしやすそうであったため」(16.7%)や「居住環境が良いため」(14.4%)も比較的多くなっています。

○転入先として大口町を選んだ理由については、「通勤・通学が便利のため」が42.0%と最も多く、「適当な家賃のアパートやマンション等の賃貸住宅が見つかったため」(27.6%)、「適当な持ち家(戸建て住宅や分譲マンション等)が見つかったため」(23.3%)が続いて多くなっています。また、「子育てがしやすそうであったため」(16.7%)や「居住環境が良いため」(14.4%)も比較的多くなっています。

○交通の利便性に加えて、住宅取得面が転入先として大口町を選んだ主な理由となっています(図2-2-1)。

図2-2-1 「選択の理由」



【年齢別】

- 年齢別にみると、「通勤・通学が便利のため」については、20歳代以下で50.5%と最も多く、年齢が高くなるにしたがってその割合は少なくなる傾向が顕著にみられます。
- また、「適当な持ち家（戸建て住宅や分譲マンション等）が見つかったため」については、50歳代・60歳（36.8%）で若干多くなっています。
- さらに、「適当な持ち家が見つかったため」については、30歳代（34.0%）、40歳代（32.3%）、50歳代・60歳（31.6%）というように、30歳代以上の年齢層ではいずれも3割以上の人を選択理由としてあげています。
- 「子育てがしやすそうであったため」については、30歳代で24.5%と多くなっています（図2-2-2）。

図 2-2-2 年齢別「選択の理由」

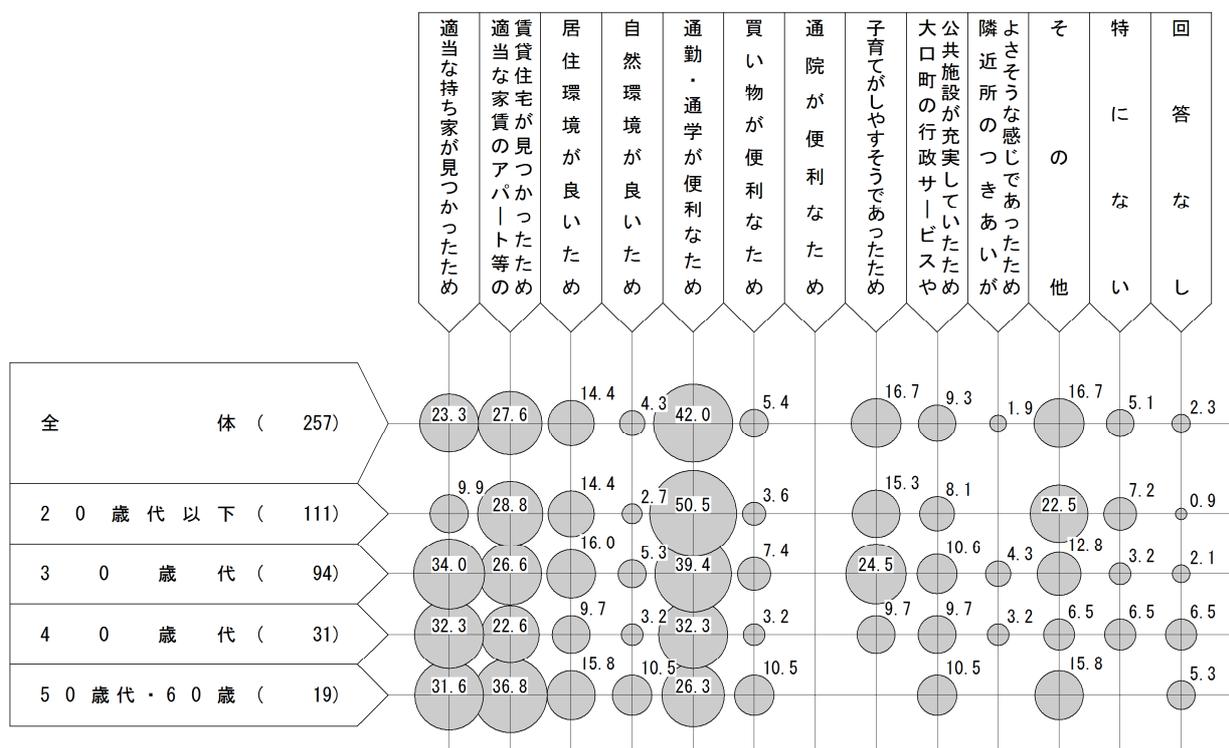


表 2-2 「選択の理由」カテゴリ「その他」の内訳

カテゴリ「その他」の内容	件数
実家があるため	15
会社の寮があるため	11
結婚相手が大口町民だったため	6
実家が近いため	6
会社の都合で	1
会社が指定したため	1
交際相手が住んでいるため	1
持ち家があったため	1
大口町で生まれ育ったから	1
会社の社宅があるため	1
合計	44

(3) 前住地 (問 10)

問 10 あなたは、大口町に転入する前はどこに住んでいましたか。

全体の 71.9%が、愛知県内の自治体からの転入で占められており、その中でも、「小牧市・江南市・犬山市・扶桑町」といった隣接自治体からの転入が愛知県内の 52.4%を占め、全体の 37.7%を占めています。

○大口町に転入する前の居住地（転入元）については、「岐阜県・三重県」（9.6%）や「その他の都道府県」（17.9%）もみられますが、全体の 71.9%を「愛知県」が占めています。

○愛知県内でも、「小牧市・江南市・犬山市・扶桑町」の隣接自治体が全体の 37.7%（愛知県内の 52.4%）を占め多くなっています。なお、「名古屋市」については 11.2%にとどまっています（図 2-3）。

図 2-3 「前住地」

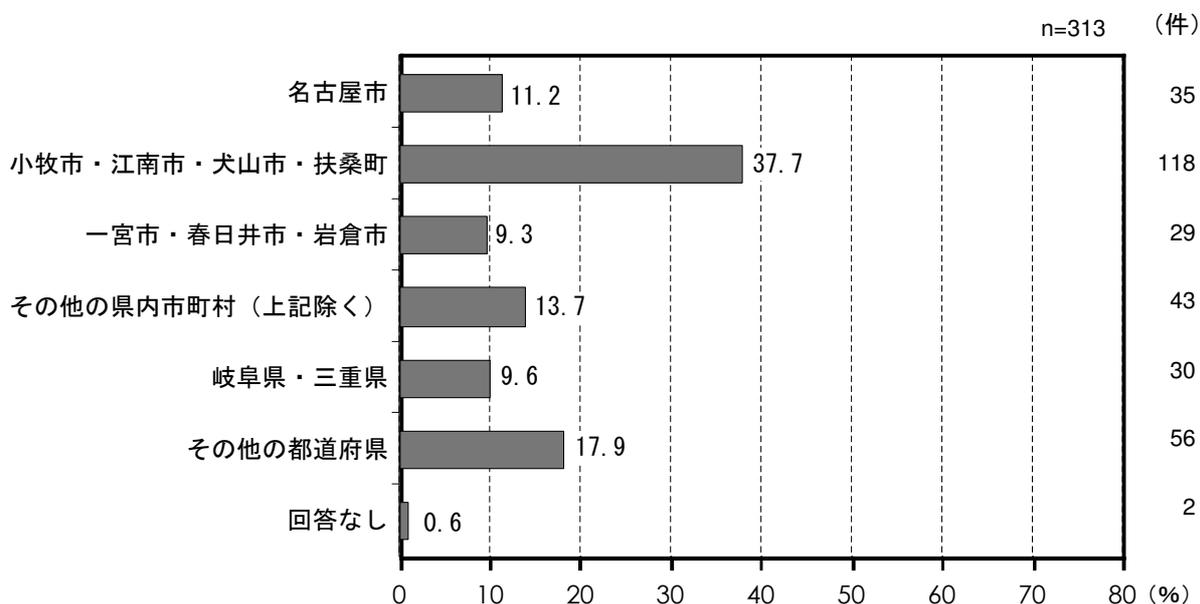


表 2-3-1 「前住地」カテゴリ「その他の県内市町村」の内訳

その他県内市町村	件数
北名古屋市	7
豊橋市	5
刈谷市	4
豊川市	4
豊田市	3
岡崎市	3
新城市	2
愛西市	2
知多市	1
阿久比市	1
大治町	1
大府市	1
知立市	1
東郷町	1
半田市	1
東海市	1
みよし市	1
清須市	1
美浜町	1
あま市	1
安城市	1
合計	43

表 2-3-2 「前住地」カテゴリ「その他の都道府県」の内訳

その他の都道府県	件数
(海外)	10
千葉県	7
静岡県	7
神奈川県	4
東京都	4
滋賀県	4
長野県	3
兵庫県	2
埼玉県	2
和歌山県	1
愛媛県	1
沖縄県	1
福岡県	1
宮崎県	1
宮城県	1
北海道	1
秋田県	1
大阪府	1
長崎県	1
熊本県	1
大分県	1
合計	55

(4) 転入前後の住宅のタイプ (問 11)

問 11 大口町に転入する前 (前住地) の住宅のタイプと大口町に転入した後 (現住地) の住宅のタイプをお教えてください。

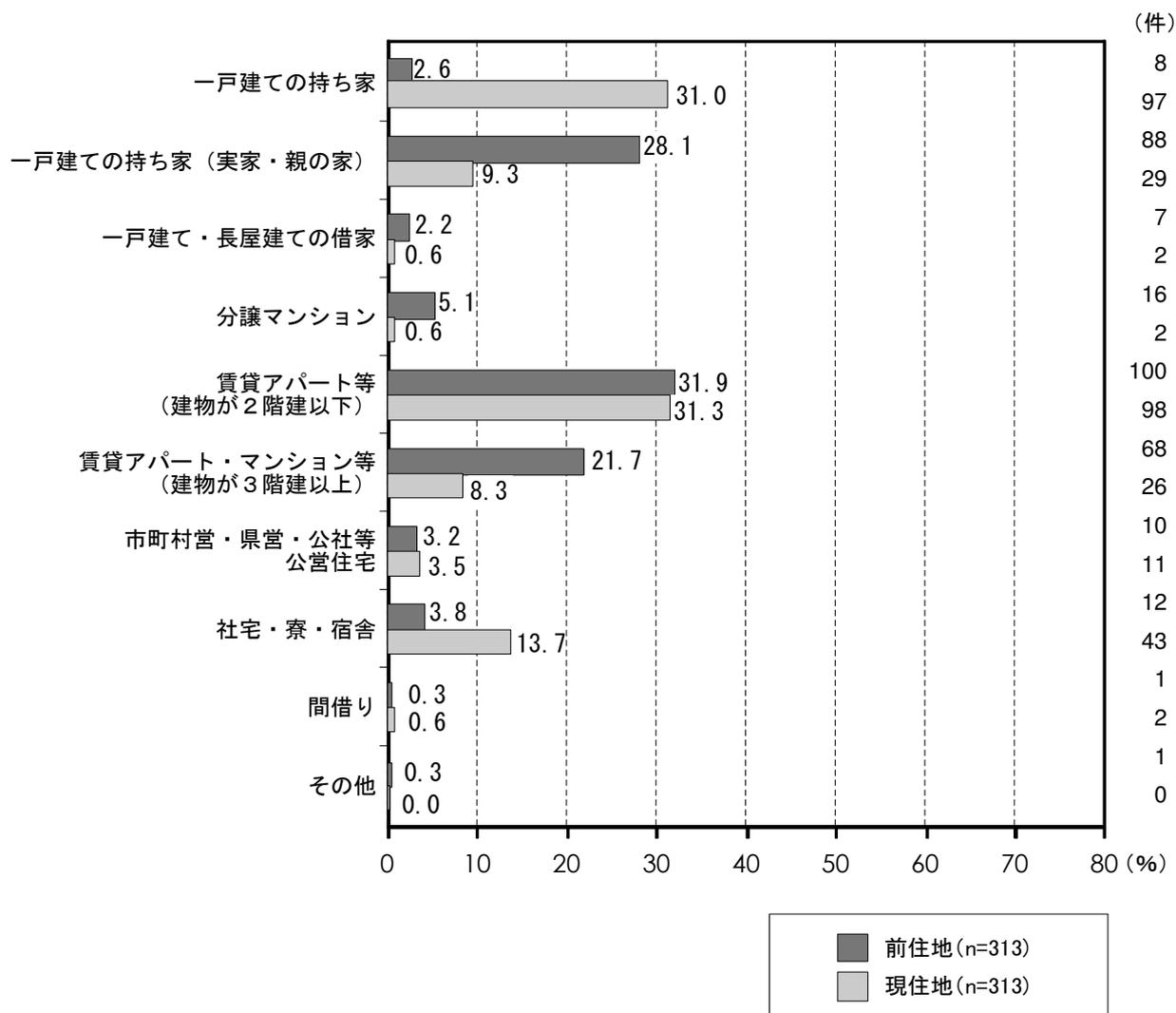
転入後の住宅タイプは、「賃貸アパート等 (建物が2階建以下)」(31.3%)、「一戸建ての持ち家」(31.0%)が多くなっています。

転入前後を比較すると、「賃貸アパート・マンション」⇒「一戸建ての持ち家」というパターン、「賃貸アパート・マンション」又は「一戸建ての持ち家 (実家・親の家)」⇒「賃貸アパート・マンション」のパターンが多くなっています。

○大口町 (現住地) における住宅のタイプについては、最も多いのが「賃貸アパート等 (建物が2階建て以下)」(31.3%)であり、これとほぼ拮抗して多いのが「一戸建ての持ち家」(31.0%)となっています。また、「社宅・寮・宿舎」(13.7%)も比較的多くくなっているのが特徴的です (図 2-4-1)。

○一方、大口町に転入してくる前 (前住地) の住宅のタイプについても、「賃貸アパート等 (建物が2階建て以下)」(31.9%)が最も多くなっていますが、次に多いのが「一戸建ての持ち家 (実家・親の家)」(28.1%)となっています。(図 2-4-1)。

図 2-4-1 「転入前後の住宅のタイプ」 (転入前後比較)

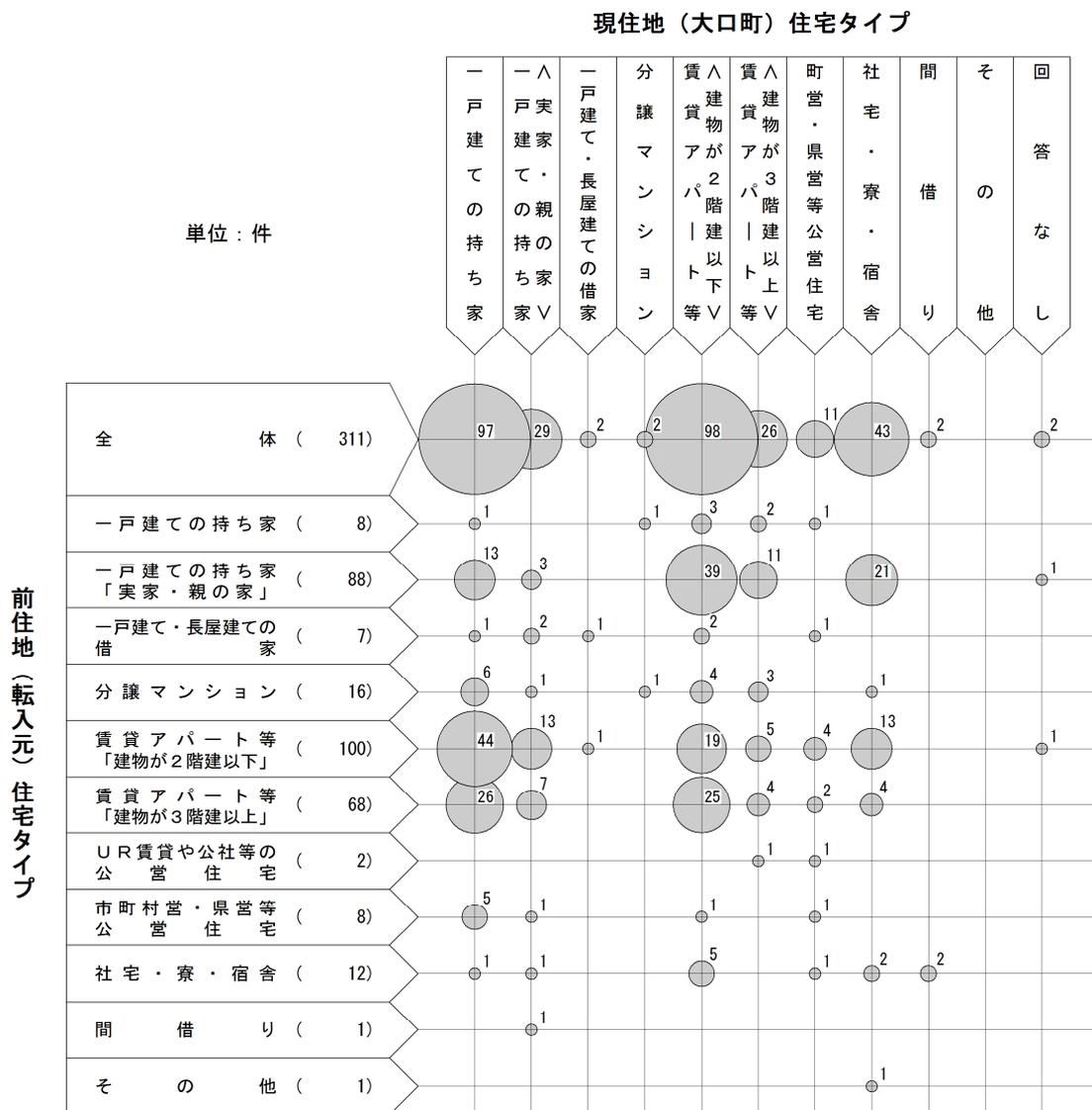


【転入前後の住宅のタイプ（前住地）別】

○転入前後の住宅のタイプの変化をみると、以下のような転居パターンが多くなっています（図2-4-2）。

- ① 「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」⇒「一戸建ての持ち家」
- ② 「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」⇒「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」
- ③ 「賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）」⇒「一戸建ての持ち家」
- ④ 「賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）」⇒「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」
- ⑤ 「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」⇒「社宅・寮・宿舍」
- ⑥ 「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」⇒「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」

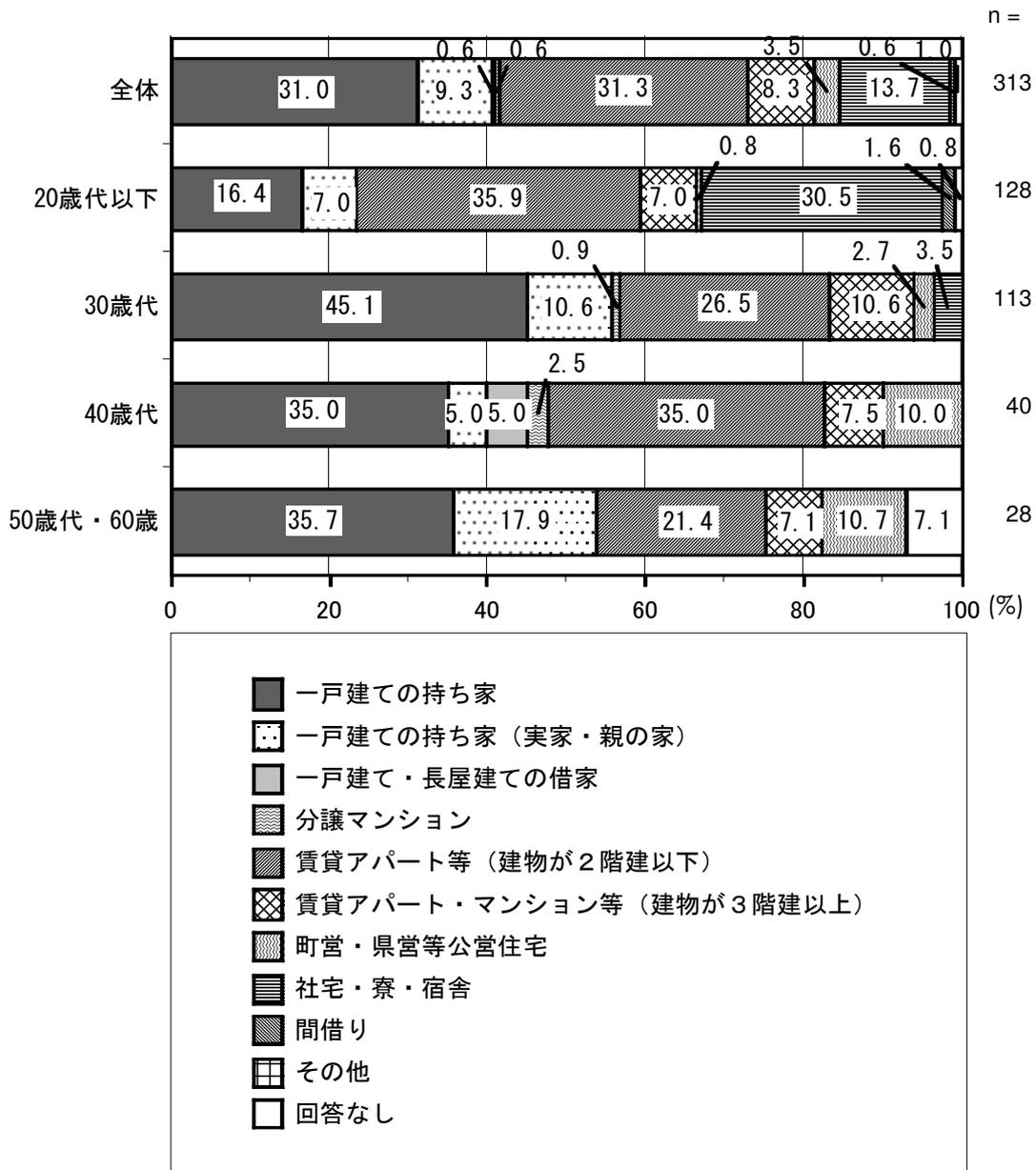
図2-4-2 転入前後の住宅のタイプ（前住地）別 「転入前後の住宅のタイプ（現住地）」



【年齢別】

- 年齢別に大口町内へ転入後（現住地）の住宅のタイプをみると、20歳代では、「社宅・寮・宿舍」が30.5%と他の年齢層に比べて突出して多くなっています。その分、「一戸建ての持ち家」が16.4%と少なくなっています。
- 30歳代では、「一戸建ての持ち家」が45.1%を占め、他の年齢層に比べて多くなっているのが特徴としてみられます。
- 50歳代・60歳では、「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」が17.9%と他の年齢層に比べて若干多くなっています。その分、「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」が21.4%と少なくなっています。
- なお、40歳代や50歳代・60歳では、「町営・県営等公営住宅」がそれぞれ10.7%、10.0%と他の年齢層に比べて若干多くなっています（図2-4-3）。

図2-4-3 年齢別「転入前後の住宅のタイプ（現住地）」



(5) 住みやすさに関する比較評価 (問 12)

問 12 大口市に転入する前 (前住地) と大口市に転入した後 (現在地) とでは、どちらが住みやすいですか。①から⑱までのそれぞれの項目の面からみて、前住地に比べて大口市が住みよいかどうか、1～5 の番号に○をつけてください。

大口市と前住地に関する各項目の住みやすさについて、下記の方法により 5 段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を指標として、住みやすさの分析を行いました。平均得点は、+2 点に近いほど大口市の方が住みやすいことを示し、逆に -2 点に近いほど大口市の方が住みにくいことを示しています。

【住みやすさの平均得点の算出方法】

住みやすさ	得点 (評点)
大口市の方が住みやすい	+2 点
大口市の方がやや住みやすい	+1 点
どちらともいえない	0 点
大口市の方がやや住みにくい	-1 点
大口市の方が住みにくい	-2 点

住みやすさの平均得点

= {「大口市の方が住みやすい」の回答数 × (+2 点) + 「大口市の方がやや住みやすい」の回答数 × (+1 点) + 「大口市の方がやや住みにくい」の回答数 × (-1 点) + 「大口市の方が住みにくい」の回答数 × (-2 点)} ÷ 総回答数

大口市の方が評価の高かった項目は、「自然や緑の豊かさ」を始め、「騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ」や「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」、「防犯活動が盛んだと治安の良さ」など 18 項目中 16 項目でした。逆に、大口市の方が評価の低かったのは、「鉄道やバスなど交通」と「ごみ収集や処理の状況」の 2 項目だけです。

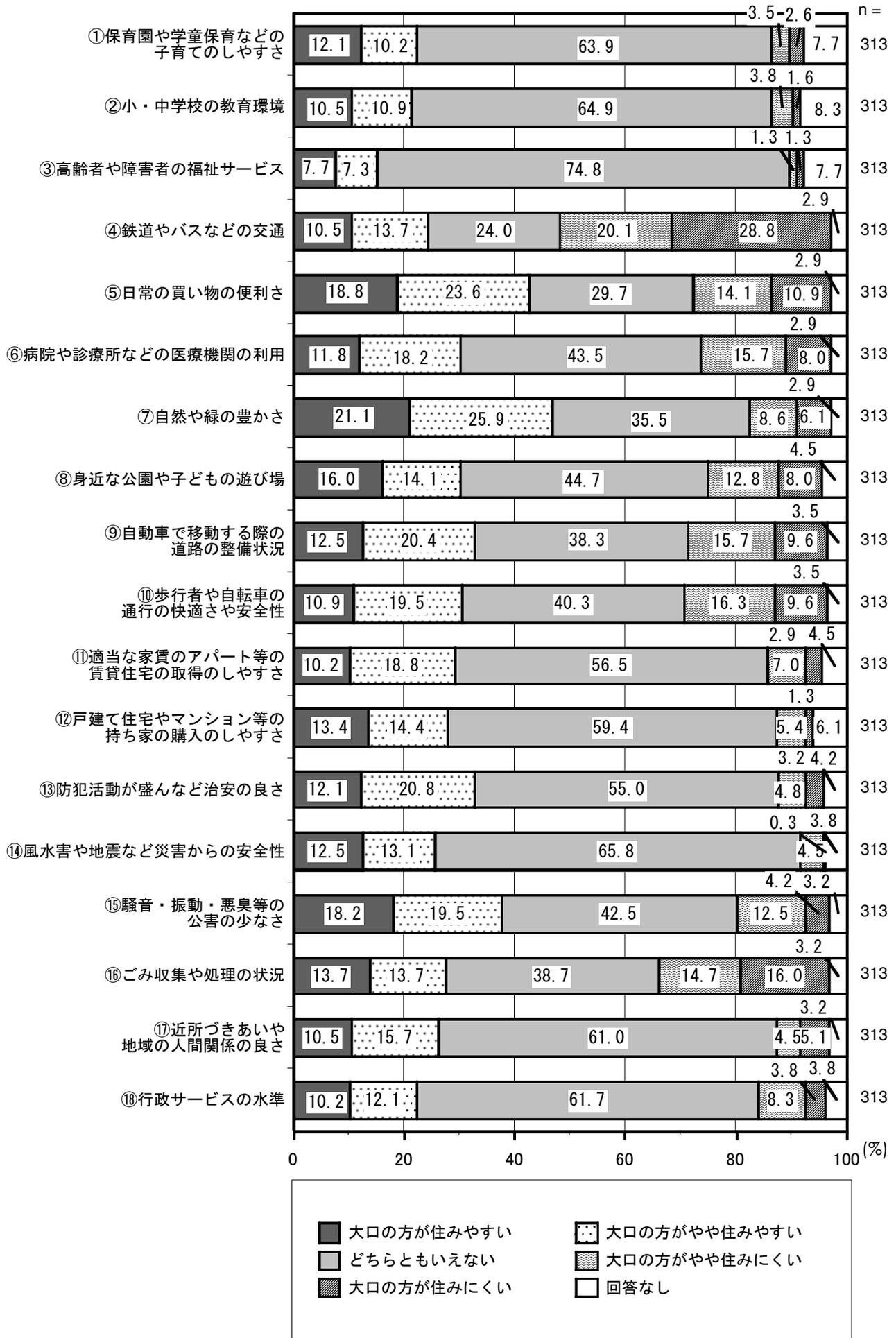
○転入前の前住地と大口市との住みやすさの比較についてみると、「大口市の方が住みやすい」と「大口市の方がやや住みやすい」を合わせたプラス評価の割合が最も多かったのは、「自然や緑の豊かさ」(合計 47.0% [21.1%+25.9%]) でした。

○次いで、「日常の買い物の便利さ」(合計 42.4% [18.8%+23.6%])、「騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ」(合計 37.7% [18.2%+19.5%])、「自動車で移動する際の道路の整備状況」(32.9% [12.5%+20.4%])、「防犯活動が盛んだと治安の良さ」(合計 32.9% [12.1%+20.8%]) が多くなっています。

○一方、「大口市の方が住みにくい」と「大口市の方がやや住みにくい」とを合わせたマイナス評価の割合は、「鉄道やバスなどの交通」(合計 48.9% [28.8%+20.1%]) が最も多くなっています。

○次いで、「ごみ収集や処理の状況」(合計 30.7% [16.0%+14.7%])、「歩行者や自転車の通行の快適さや安全性」(合計 25.9% [9.6%+16.3%])、「自動車で移動する際の道路の整備状況」(合計 25.3% [9.6%+15.7%]) が多くなっています (図 2-5-1)。

図 2-5-1 「住みやすさに関する比較評価」

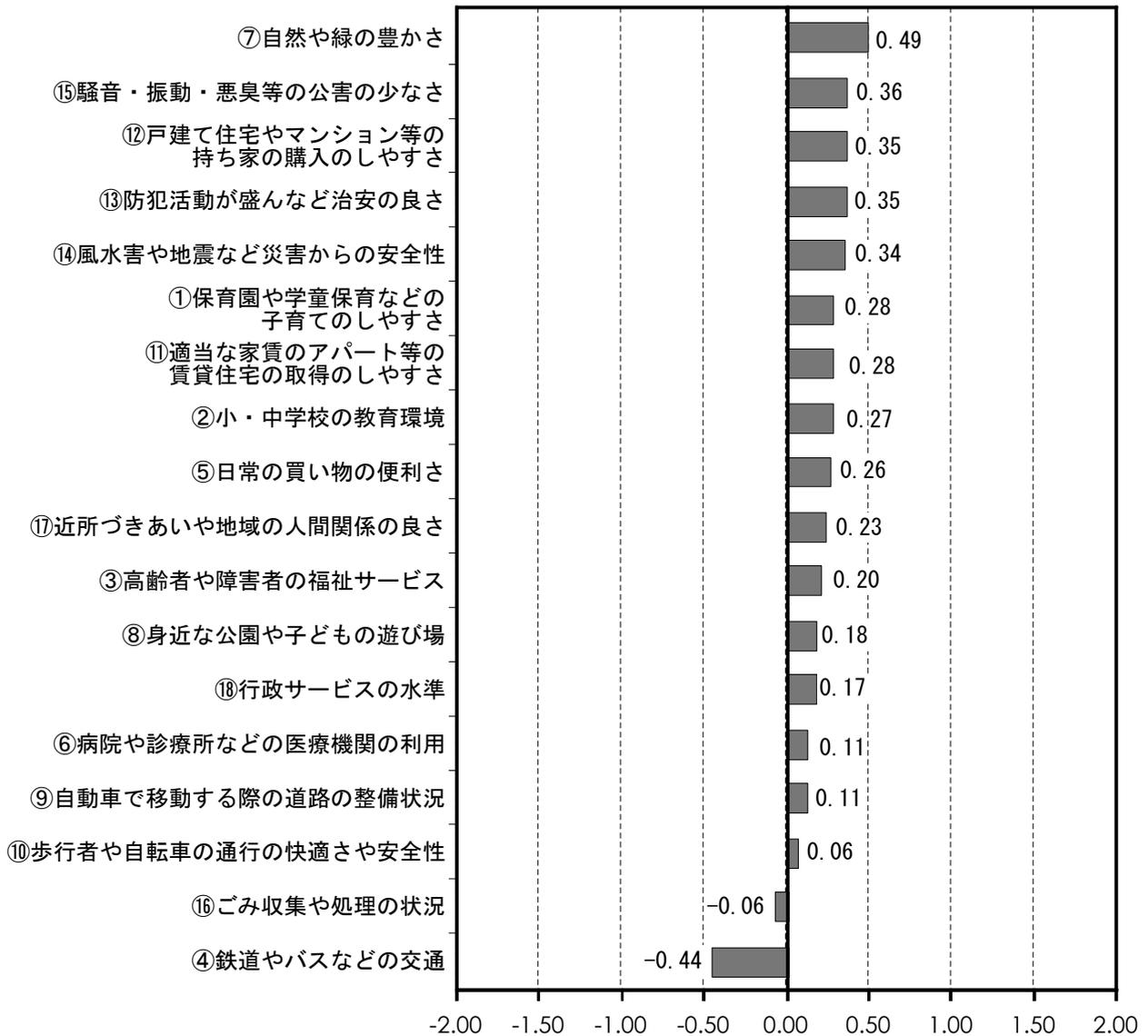


○平均得点で見ると、評点が最も高い項目は、「自然や緑の豊かさ」(0.49)であり、次いで、「騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ」(0.36)や「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」(0.35)、「防犯活動が盛んなど治安の良さ」(0.35)の評点が高くなっています。

○逆に、評点が最も低かった項目は、「鉄道やバスなど交通」(-0.44)であり、次いで、「ごみ収集や処理の状況」(-0.06)の評点がマイナス評価となっています。

○大口町の方が評価の高かった項目(プラス評価の項目)は18項目中16項目に対して、大口町の方が評価の低かった項目(マイナス評価の項目)は2項目にとどまっています(図2-5-2)。

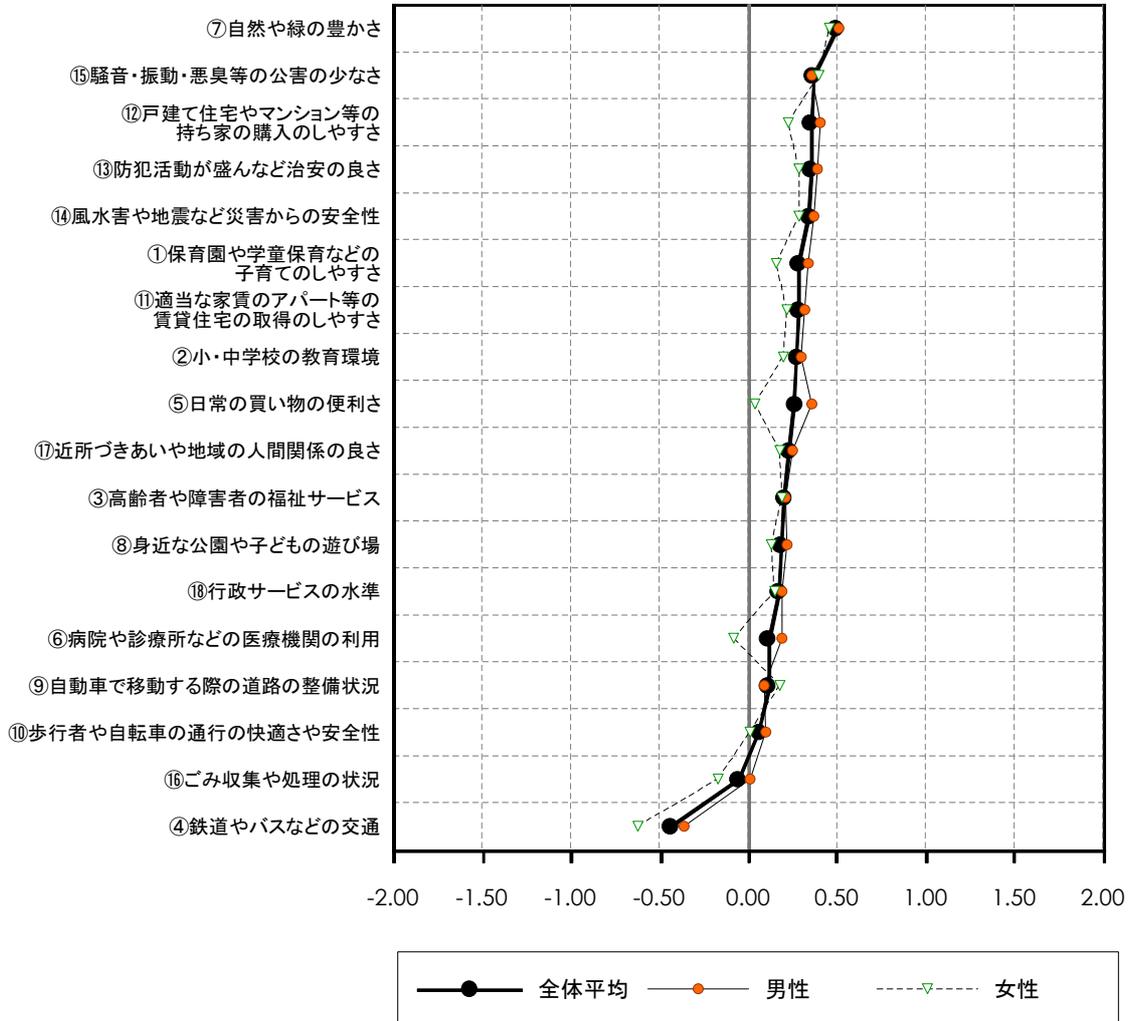
図 2-5-2 「住みやすさに関する比較評価」(評点)



【性別】

○性別でみると、「日常の買い物の便利さ」（女性：0.04、男性：0.36）や「病院や診療所などの医療機関の利用」（女性：-0.08、男性：0.19）など、全般的に女性の評価が男性に比べ低くなっていますが、全般的に性別による大きな差はみられません（図 2-5-3）。

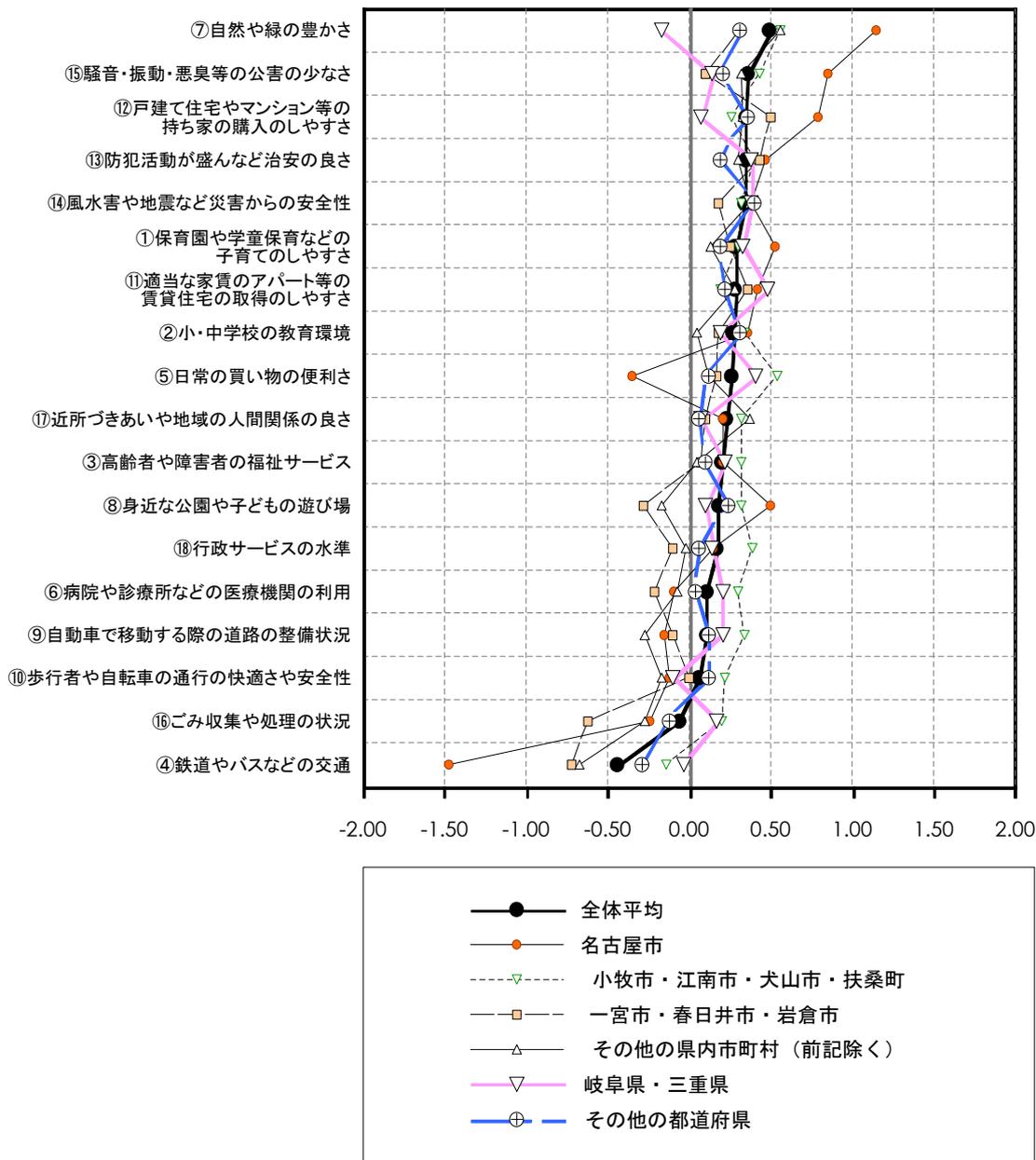
図 2-5-3 性別「住みやすさに関する比較評価」（評点）



【前住地（転入元）別】

- 転入元（前住地）別の評価をみると、「名古屋市」から転入した人については、大口町の「自然や緑の豊かさ」、「騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ」、「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」を高く評価していますが、「鉄道やバスなどの交通」や「日常の買い物等の便利さ」についての評点が大きくマイナスとなっています。
- 一方、「岐阜県・三重県」から転入した人は、「名古屋市」とは逆に「鉄道やバスなどの交通」や「日常の買い物等の便利さ」については、大口町を高く評価しているのに対し、「自然や緑の豊かさ」や「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」などについては低い評点となっています。
- また、「小牧市・江南市・犬山市・扶桑町」といった近隣市町から転入した人の評価をみると、ほとんどの項目にわたって大口町の方を高く評価しています。（図 2-5-4）。

図 2-5-4 前住地（転入元）別「住みやすさに関する比較評価」



(6) 前住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価 (問 13)

問 13 大口町に転入する前 (前住地) と大口町に転入した後 (現住地) とでは、どちらが総合的に住みやすいですか。

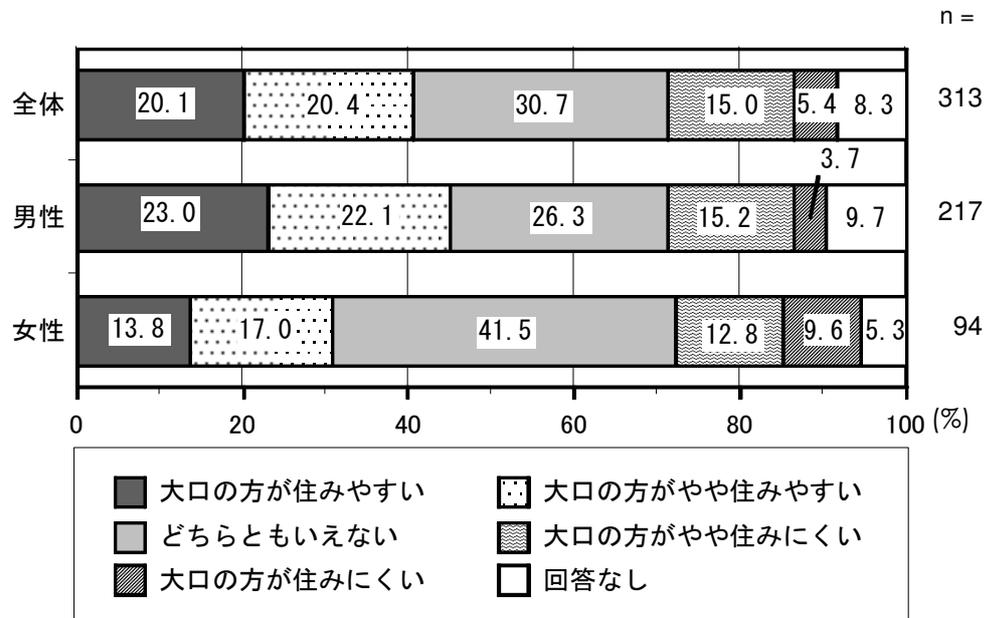
前住地よりも大口町の方が総合的に住みやすいと評価した人が 40.5% を占めており、住みにくいと評価した人を 20.1 ポイントも上回っています。

○他市町村に住んでいた時と大口町に転入した後 (現住地) とを比較して、どちらが総合的に住みやすいかを尋ねたところ、「大口の方が住みやすい」と「大口の方がやや住みやすい」を合わせた割合 (以下、「住みやすいという評価」) は (合計 40.5% [20.1%+20.4%]) であり、「大口の方が住みにくい」と「大口の方がやや住みにくい」を合わせた割合 (以下、「住みにくいという評価」) (合計 20.4% [5.4%+15.0%]) を 20.1 ポイント上回っています (図 2-6-1)。

【性別】

○性別でみると、「住みやすいという評価」は、男性 (合計 45.1% [23.0%+22.1%])、女性 (合計 30.8% [13.8%+17.0%]) で、男性が女性よりも 14.3 ポイント高く評価しています (図 2-6-1)。

図 2-6-1 性別「前住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価」

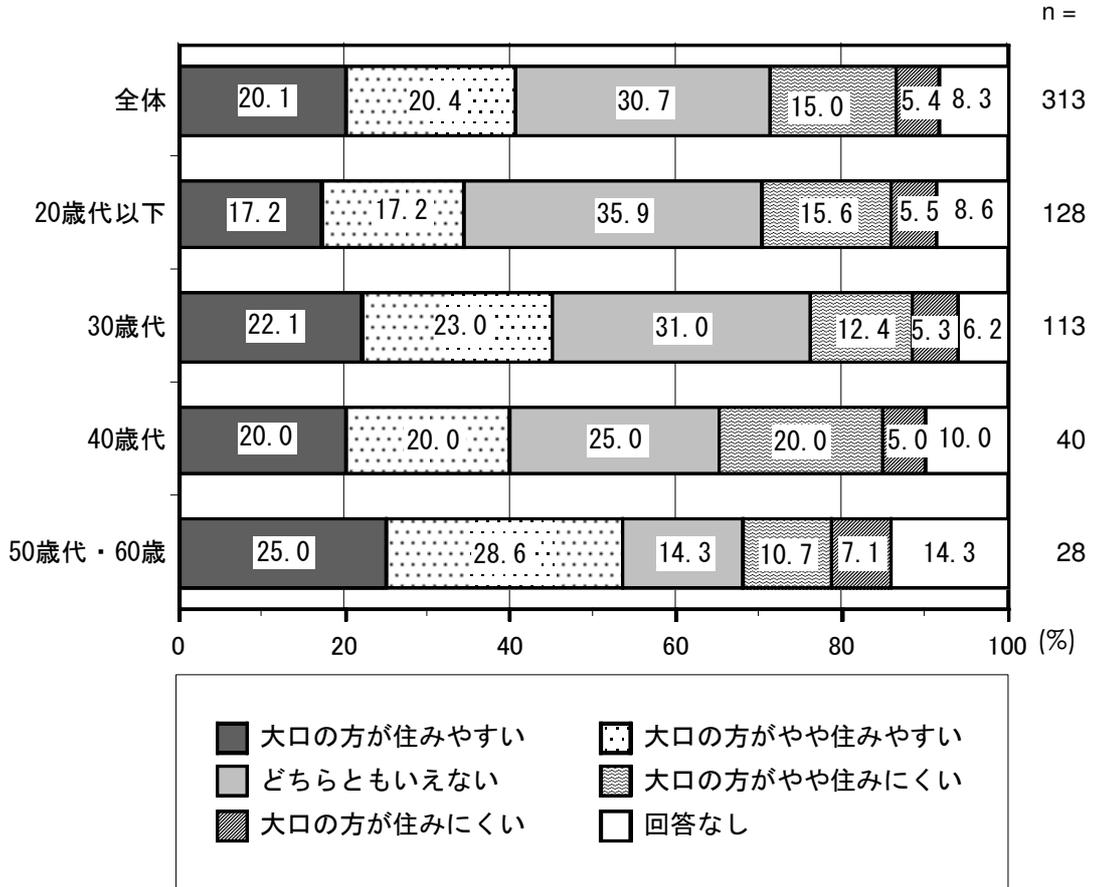


【年齢別】

○年齢別にみると、50歳代・60歳では、「住みやすいという評価」は53.6%（25.0%+28.6%）を占めており、「住みにくいという評価」（合計17.8%〔7.1%+10.7%〕）を35.8ポイントも上回っています。

○20歳代以下では、「住みやすいという評価」は34.4%（17.2%+17.2%）を占めており、「住みにくいという評価」（合計21.1%〔5.5%+15.6%〕）を13.3ポイント上回っていますが、他の年齢層に比べて住みやすさの評価が低くなっています（図2-6-2）。

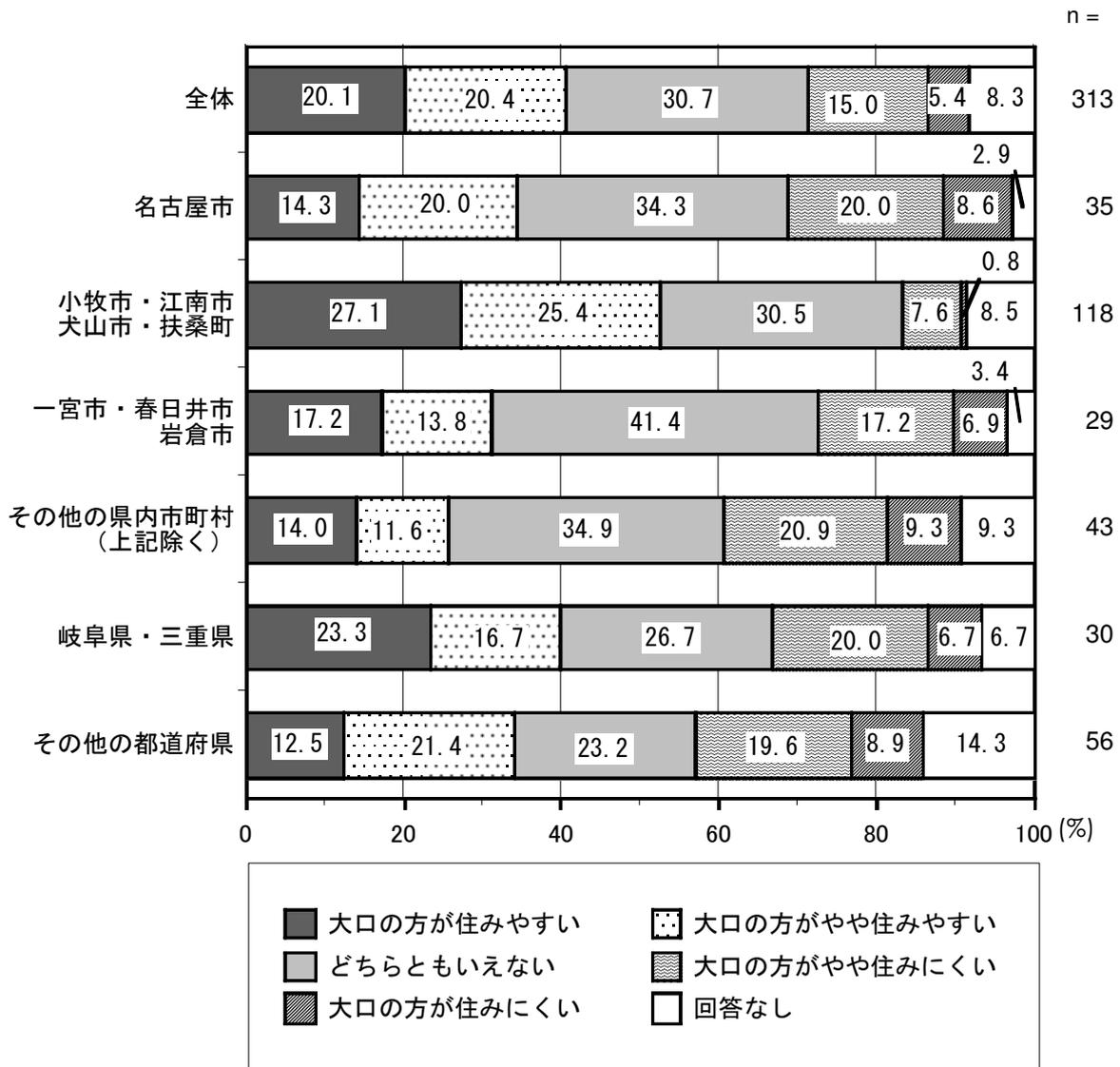
図2-6-2 年齢別「前住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価」



【前住地（転入元）別】

- 転入元（前住地）別にみると、隣接自治体である「小牧市・江南市・犬山市・扶桑町」は、「住みやすいという評価」（合計 52.5% [27.1%+25.4%]）で「住みにくいという評価」（合計 8.4% [0.8%+7.6%]）を 44.1 ポイントも上回っています。
- ここまで極端ではないものの、「名古屋市」や近隣自治体「一宮市・春日井市・岩倉市」、「岐阜県・三重県」や「その他の都道府県」についても大口町の方が住みやすいという人がそうでない人を上回っています。
- 一方、「名古屋市」、隣接自治体「小牧市・江南市・犬山市・扶桑町」と近隣自治体「一宮市・春日井市・岩倉市」以外の「愛知県内市町村」からの転入者については唯一、「住みやすいという評価」（合計 25.6% [14.0%+11.6%]）が「住みにくいという評価」（合計 30.2% [9.3%+20.9%]）を 4.6 ポイント下回っています（図 2-6-3）。

図 2-6-3 前住地別「前住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価」



第3章 大口町における定住意向について

(1) 定住意向 (問 14)

問 14 あなたはこれからも大口町に住み続けたいと思いますか。

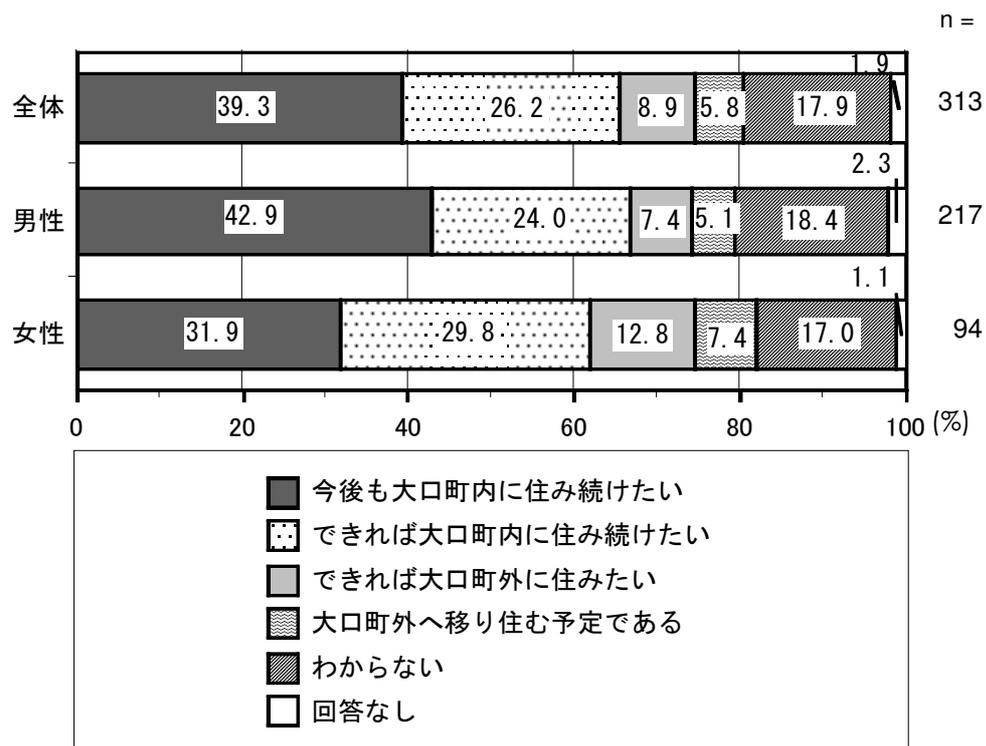
大口町に対して定住の意向を持つ人は、65.5%を占めています。

○「今後も大口町内に住み続けたい」が39.3%、「できれば大口町内に住み続けたい」が26.2%となっています。これらを合わせた大口町に対して定住意向を示している人は、65.5%を占めています。一方、「できれば大口町外に住みたい」(8.9%)と「大口町外へ移り住む予定である」(5.8%)を合わせた大口町から移転の意向を持つ市民は14.7%となっており、定住意向を持っている人を50.8ポイント下回っています(図3-1-1)。

【性別】

○性別でみると、「今後も大口町内に住み続けたい」と「できれば大口町内に住み続けたい」を合わせた割合は、男性では66.9%(42.9%+24.0%)、女性では61.7%(31.9%+29.8%)を占めており、どちらかと言えば男性の方が定住意向の高くなっています(図3-1-1)。

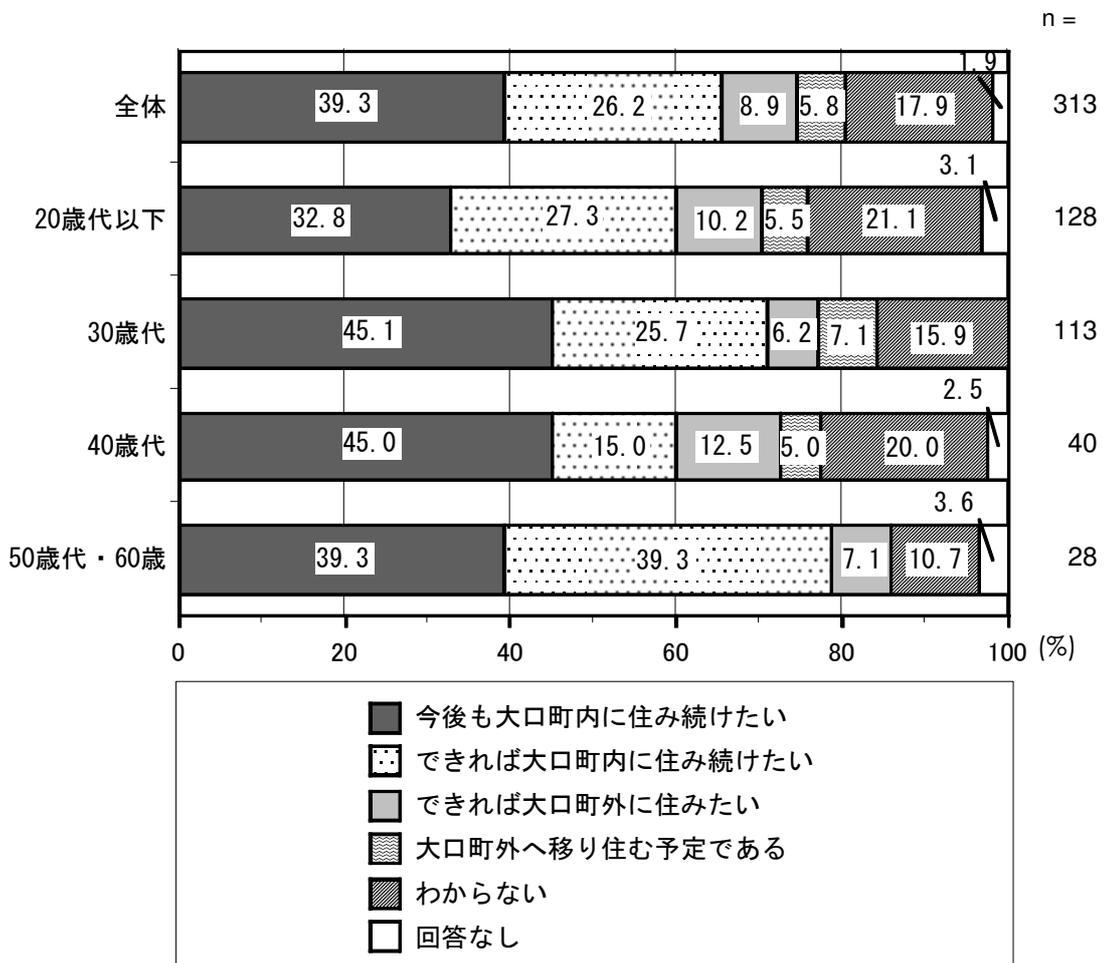
図3-1-1 性別「定住意向」



【年齢別】

- 年齢別にみると、20歳代以下では「今後も大口町内に住みたい」の割合（32.8%）が全体値に比べて若干少なくなっており、「できれば大口町内に住みたい」（27.3%）を合わせた割合も60.1%と全体値（65.5%）を若干下回っています。また、40歳代でも「今後も大口町内に住みたい」と「できれば大口町内に住みたい」を合わせた割合が60.0%（45.0%+15.0%）にとどまっていますが、「今後も大口町内に住みたい」の割合（45.0%）は全体値（39.3%）を上回っています。
- 一方、30歳代（70.8% [32.8%+27.3%]）や50歳代・60歳（78.6% [39.3%+39.3%]）では、「今後も大口町内に住みたい」と「できれば大口町内に住みたい」を合わせた割合が全体値を上回っています（図3-1-2）。

図3-1-2 年齢別「定住意向」

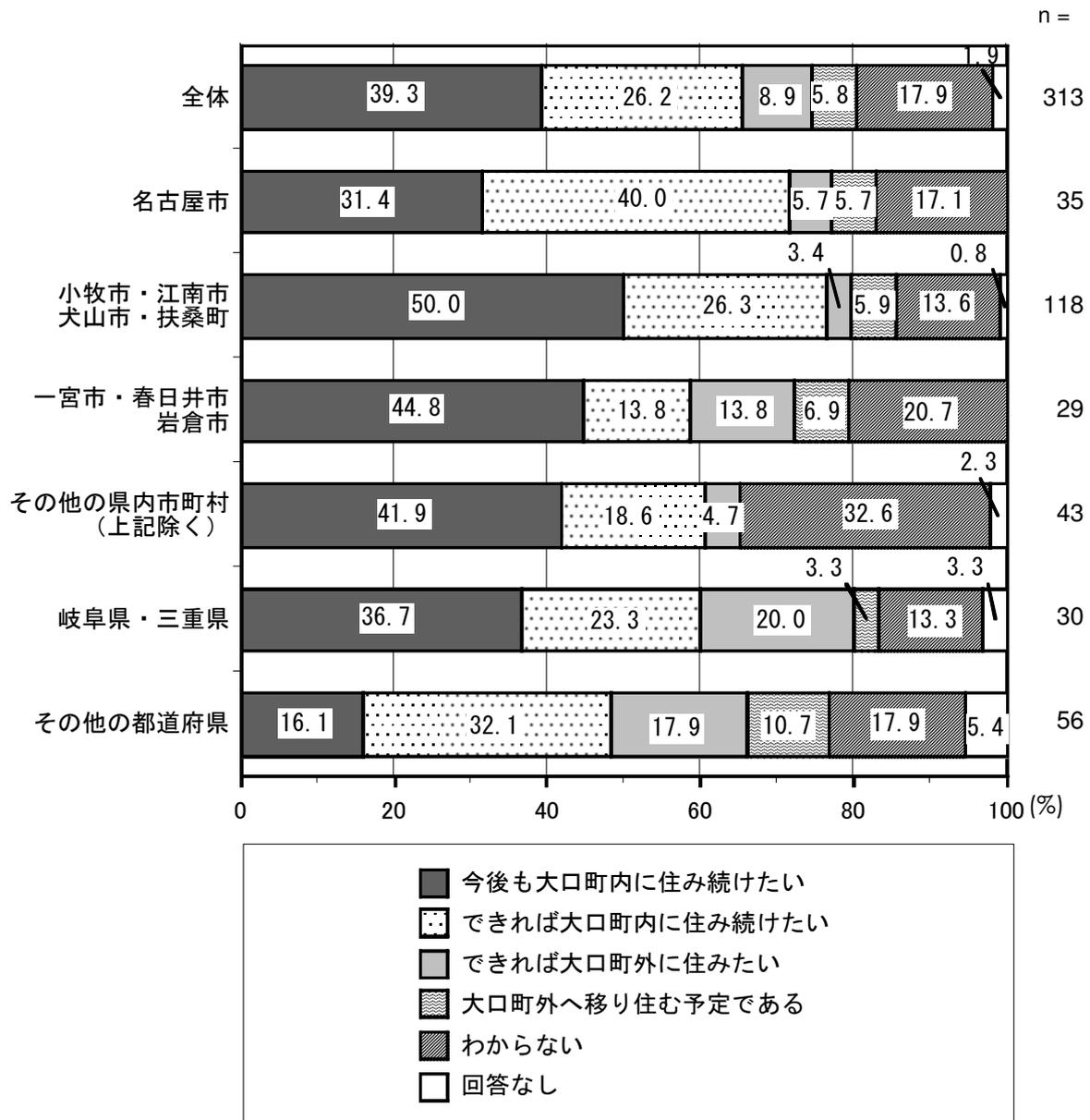


【前住地別】

○転入元（前住地）別にみると、「今後も大口町内に住みたい」の割合は、特に隣接自治体（小牧市・江南市・犬山市・扶桑町）で50.0%と多くなっています。また、近隣自治体（一宮市・春日井市・岩倉市）でも44.8%と若干多くなっています。

○「今後も大口町内に住みたい」と「できれば大口町内に住みたい」を合わせた割合は、隣接自治体（小牧市・江南市・犬山市・扶桑町）が76.3%（合計76.3%〔50.0%+26.3%〕）、名古屋市が71.4%（合計76.3%〔50.0%+26.3%〕）で高い値を示しています（図3-1-3）。

図3-1-3 前住地別「定住意向」



(2) 転出する場合の理由 (問 15)

問 15 大口市から転出することになる場合、主にどのようなことが理由として考えられますか。【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

大口市から転出することになった場合の理由については、「自分の家族に合った生活スタイルの暮らしをしたいため」が26.1%と最も多く、これに次いで、「その他」(26.1%)、「親や自分の家屋や土地が他の市町村にあるため」(21.7%)が多くなっています。

○問 14 で、「できれば大口市外に住みたい」や「大口市外へ移り住む予定である」を回答した46人に対して、大口市から転出することになった場合の理由について尋ねたところ、「自分の家族に合った生活スタイルの暮らしをしたいため」が26.1%と最も多く、これに次いで、「その他」(26.1%)、「親や自分の家屋や土地が他の市町村にあるため」(21.7%)が多くなっています。また、「転勤・転職のため」も17.4%と少なくありません(図3-2)。

○「親や自分の家屋や土地が他の市町村にあるため」や「転勤・転職のため」は仕方ない理由としても、「自分の家族に合った生活スタイルの暮らしをしたいため」や「子どもが生まれるのをきっかけに」といった事項については、転出を抑制する上での課題としてとらえることができます。

図 3-2 「転出する場合の理由」

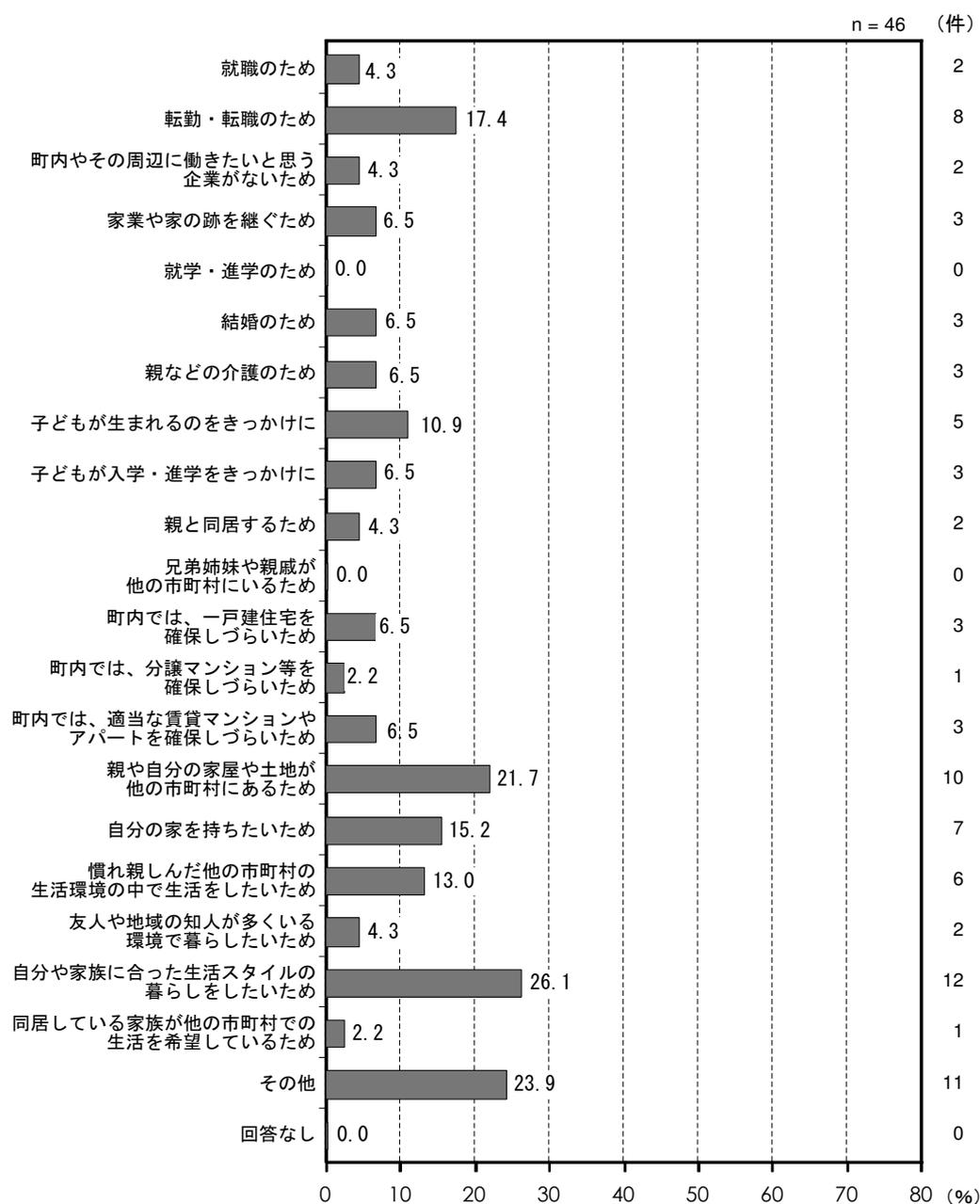


表 3-2 「転出する場合の理由」カテゴリ「その他」

カテゴリ「その他」内容	件
出産・子育てがしづらいため	2
ゴミ回収が悪いため	2
交通が不便なため	2
通勤が不便なため	1
不便なため	1
小・中学校がよくないため	1
行政サービスが悪い	1
賑やかな街に住みたいため	1
合計	11

■ 調査票

住みやすいまちに関するアンケート (大口町に転入された町民向けアンケート)

●アンケートご協力のお願い●

日頃より大口町の町政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本町では、『みんなで進める自立と共助のまちづくり』を基本理念として掲げた第6次大口町総合計画に基づいて町政運営を進めてきました。また、全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる中、本町では、住みやすいまちづくりを進めるための戦略（計画）づくりをスタートさせたところです。

そこで、この度、一層住みやすいまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的に、町民の皆さんを対象にアンケートを実施することになりました。

このアンケートは、平成26年4月1日から平成27年9月30日までの期間に大口町内に転入された18歳～60歳の町民の皆さん約1,000人を選ばせていただき、お願いするものです。ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたりすることは一切ありません。

つきましては、将来の大口町のあり方を考えていく上で大切なアンケートですので、ご多忙のところ大変申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年11月

大口町長 鈴木 雅博

■ご記入にあたって■

1. このアンケートは、宛名のご本人がお答えください。事情によって、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方が本人に代わってご回答ください。
2. 設問への回答について、特に記載のない場合は、**該当する項目を1つ選んで、番号に○印**をつけてください。
3. ご記入いただいたアンケート用紙は**平成27年11月26日(木)**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。
4. アンケートについてのご質問やお問い合わせは、下記までお願いいたします。

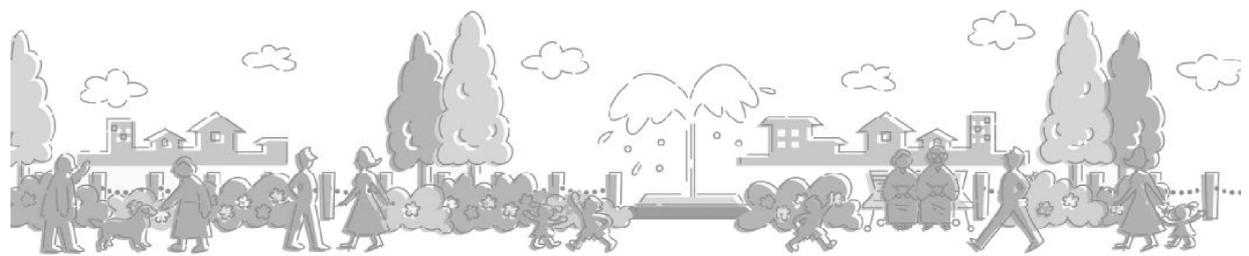
■このアンケートに関する問い合わせ先■

大口町総務部政策推進課 総合戦略担当（岩田）

電話：0587-95-1617（内線224） Fax：0587-95-1030

E-mail：seisaku@town.oguchi.lg.jp

〒480-0144 大口町下小口七丁目155



A あなたやあなたのご家族などについて

問1 あなたの性別・年齢をお教えてください。

●性別

- 1. 男性
- 2. 女性

●年齢(※平成27年9月30日現在の年齢でお答えください。)

- 1. 18～24歳
- 2. 25～29歳
- 3. 30～34歳
- 4. 35～39歳
- 5. 40～44歳
- 6. 45～49歳
- 7. 50～54歳
- 8. 55～60歳

問2 あなたの職業は何ですか。

- 1. 農業
- 2. 自営業・自由業
- 3. 会社員(商店等の勤務も含む)
- 4. 公務員・団体職員
- 5. パートタイマー・派遣業の非正規雇用者
- 6. 失業中(求職中)
- 7. 学生
- 8. 家事専従(主婦・主夫)
- 9. 無職
- 10. その他(_____)

問3 あなたは、現在、どの地区(行政区)にお住まいですか。

- 1. 秋田
- 2. 豊田
- 3. 大屋敷
- 4. 外坪
- 5. 河北
- 6. 余野
- 7. 上小口
- 8. 中小口
- 9. 下小口
- 10. 垣田
- 11. さつきヶ丘

問4 大口町に転入されたご家族の人数は、あなたも含めて何人でしたか。

●あなた自身を含めた家族人数

人

※あなたお1人だけの場合は、「1」を記入してください。

問5 大口町と一緒に転入したあなたのご家族の構成は次のどれに属しますか。

- 1. 単身(あなたお1人だけ)で転入
- 2. 夫婦のみ(あなたと配偶者)で転入
- 3. 1つの世代の家族(夫婦のみの世帯を除く、例えば、「兄弟のみの世帯」や「姉妹のみの世帯」など)で転入
- 4. 2つの世代で構成される家族のうち、「あなたや配偶者+子ども」からなる家族で転入
- 5. 2つの世代で構成される家族のうち、「あなたや配偶者+あなたや配偶者の親」からなる家族で転入
- 6. 3つの世代で構成される家族のうち「あなたや配偶者の親+あなたや配偶者+子ども」からなる家族で転入
- 7. 3つの世代で構成される家族のうち「あなたや配偶者の祖父母+あなたや配偶者の親+あなたや配偶者」からなる家族で転入
- 8. 4つ以上の世代からなる家族で転入
- 9. その他(具体的に:_____)

問6 大口町と一緒に転入したあなたのご家族の中には、次のいずれかにあてはまる方はいますか。【あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。】

- 1. 0歳～2歳の乳幼児
- 2. 3歳～5歳児(小学校入学前まで)の幼児
- 3. 小学生
- 4. 中学生
- 5. 高校生
- 6. 大学生・大学院生・専門学校生
- 7. 1～6のような同居人はいない

問7 あなたは結婚していますか。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 結婚している | 3. 結婚していない |
| 2. 結婚していないがパートナーと暮らしている | 4. 離別・死別している |

B 大口町への転入理由や転入前後の様子について

問8 大口町に転入してきた（引越しをしてきた）主なきっかけは何ですか。【あてはまるものを2つまで選んで番号に○印をつけてください。】

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 適当な持ち家・賃貸住宅を探していたため | 7. 家業や家の跡を継ぐため |
| 2. 就職のため | 8. 親などの介護のため |
| 3. 転勤・転職のため | 9. 親と同居するため |
| 4. 就学・進学のため | 10. 親の近くに住むため |
| 5. 結婚のため | 11. その他（具体的に：_____） |
| 6. 子どもが入学、進学するため | _____） |

問9 【問8で1.～6.のいずれかを回答された方におたずねします。】

転入先（引越し先）として大口町を選んだ主な理由は何ですか。【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 適当な持ち家（戸建て住宅や分譲マンション等）が見つかったため | 8. 子育てがしやすそうであったため |
| 2. 適当な家賃のアパートやマンション等の賃貸住宅が見つかったため | 9. 大口町の行政サービスや公共施設が充実していたため |
| 3. 居住環境が良いため | 10. 隣近所のつきあいがよさそうな感じであったため |
| 4. 自然環境が良いため | 11. その他（具体的に：_____） |
| 5. 通勤・通学が便利のため | _____） |
| 6. 買い物が便利のため | 12. 特になし |
| 7. 通院が便利のため | |

問10 あなたは、大口町に転入する前はどこに住んでいましたか。

- | | | |
|---------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 名古屋市 | 6. 春日井市 | 10. 岐阜県（市町村名⇒_____） |
| 2. 一宮市 | 7. 岩倉市 | 11. 三重県（市町村名⇒_____） |
| 3. 小牧市 | 8. 扶桑町 | 12. 愛知県・岐阜県・三重県以外の都道府県（都道府県名⇒_____） |
| 4. 江南市 | 9. 前記1～8以外の愛知県内の市町村（市町村名⇒_____） | （市区町村名⇒_____） |
| 5. 犬山市 | | |

問11 大口市に転入する前（前住地）の住宅のタイプと大口市に転入した後（現在地）の住宅のタイプをお教えください。

大口市に転入する前（前住地）の住宅のタイプ	大口市に転入した後（現在地）の住宅のタイプ
<ol style="list-style-type: none">1. 一戸建ての持ち家（あなたまたは配偶者の所有）2. 一戸建ての持ち家（実家・親の家）3. 一戸建て・長家建ての借家4. 分譲マンション5. 賃貸アパート等（建物が2階建以下）6. 賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）7. UR賃貸や公社等の公的な賃貸住宅8. 市町村営・県営等公営住宅9. 社宅・寮・宿舎10. 間借り11. その他（具体的に_____）	<ol style="list-style-type: none">1. 一戸建ての持ち家（あなたまたは配偶者の所有）2. 一戸建ての持ち家（実家・親の家）3. 一戸建て・長家建ての借家4. 分譲マンション5. 賃貸アパート等（建物が2階建以下）6. 賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）7. 町営・県営等公営住宅8. 社宅・寮・宿舎9. 間借り10. その他（具体的に_____）

問12 大口町に転入する前（前住地）と大口町に転入した後（現在地）とでは、どちらが住みやすいですか。①から⑱までのそれぞれの項目の面からみて、前住地に比べて大口が住みよいかどうか、1～5の番号に○をつけてください。

項目	選択肢				
	大口の方が住みやすい	大口の方がやや住みやすい	どちらともいえない	大口の方がやや住みにくい	大口の方が住みにくい
① 保育園や学童保育などの子育てのしやすさ	1	2	3	4	5
② 小・中学校の教育環境	1	2	3	4	5
③ 高齢者や障害者の福祉サービス	1	2	3	4	5
④ 鉄道やバスなどの交通	1	2	3	4	5
⑤ 日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
⑥ 病院や診療所などの医療機関の利用	1	2	3	4	5
⑦ 自然や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
⑧ 身近な公園や子どもの遊び場	1	2	3	4	5
⑨ 自動車で移動する際の道路の整備状況	1	2	3	4	5
⑩ 歩行者や自転車の通行の快適さや安全性	1	2	3	4	5
⑪ 適当な家賃のアパートやマンション等の賃貸住宅の取得のしやすさ	1	2	3	4	5
⑫ 戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ	1	2	3	4	5
⑬ 防犯活動が盛んなど治安の良さ	1	2	3	4	5
⑭ 風水害や地震など災害からの安全性	1	2	3	4	5
⑮ 騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ	1	2	3	4	5
⑯ ごみ収集や処理の状況	1	2	3	4	5
⑰ 近所づきあいや地域の間関係の良さ	1	2	3	4	5
⑱ 行政サービスの水準	1	2	3	4	5

問13 大口町に転入する前（前住地）と大口町に転入した後（現在地）とでは、どちらが総合的にみた場合に住みやすいですか。

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| 1. 大口の方が住みやすい | 3. どちらともいえない | 4. 大口の方がやや住みにくい |
| 2. 大口の方がやや住みやすい | | 5. 大口の方が住みにくい |

C 大口町における定住意向について

問14 あなたはこれからも大口町に住み続けたいと思いますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 今後も大口町内に住み続けたい | 3. できれば大口町外に住みたい |
| 2. できれば大口町内に住み続けたい | 4. 大口町外へ移り住む予定である |
| | 5. わからない |

問15 【問14で3、4のいずれかをお答えの方にお伺いします。】

大口町から転出することになる場合、主にどのようなことが理由として考えられますか。【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 就職のため | 14. 町内では、適当な賃貸マンションやアパートを確保しづらいため |
| 2. 転勤・転職のため | 15. 親や自分の家屋や土地が他の市町村にあるため |
| 3. 町内やその周辺に働きたいと思う企業がないため | 16. 自分の家を持ちたいため |
| 4. 家業や家の跡を継ぐため | 17. 慣れ親しんだ他の市町村の生活環境の中で生活をしたいため |
| 5. 就学・進学のため | 18. 友人や地域の知人が多くいる環境で暮らしたいため |
| 6. 結婚のため | 19. 自分や家族に合った生活スタイルの暮らしをしたいため |
| 7. 親などの介護のため | 20. 同居している家族が他の市町村での生活を希望しているため |
| 8. 子どもが生まれるのをきっかけに | 21. その他（具体的に：_____） |
| 9. 子どもが入学、進学をきっかけに | |
| 10. 親と同居するため | |
| 11. 兄弟姉妹や親戚が他の市町村にいるため | |
| 12. 町内では、一戸建住宅を確保しづらいため | |
| 13. 町内では、分譲マンション等を確保しづらいため | |

ご協力ありがとうございました。

記入漏れ等がないかご確認の上、平成27年11月26日（木）までに返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。